

令和6年度

第2回 岩手県渋滞対策推進協議会 会議資料

令和7年2月13日

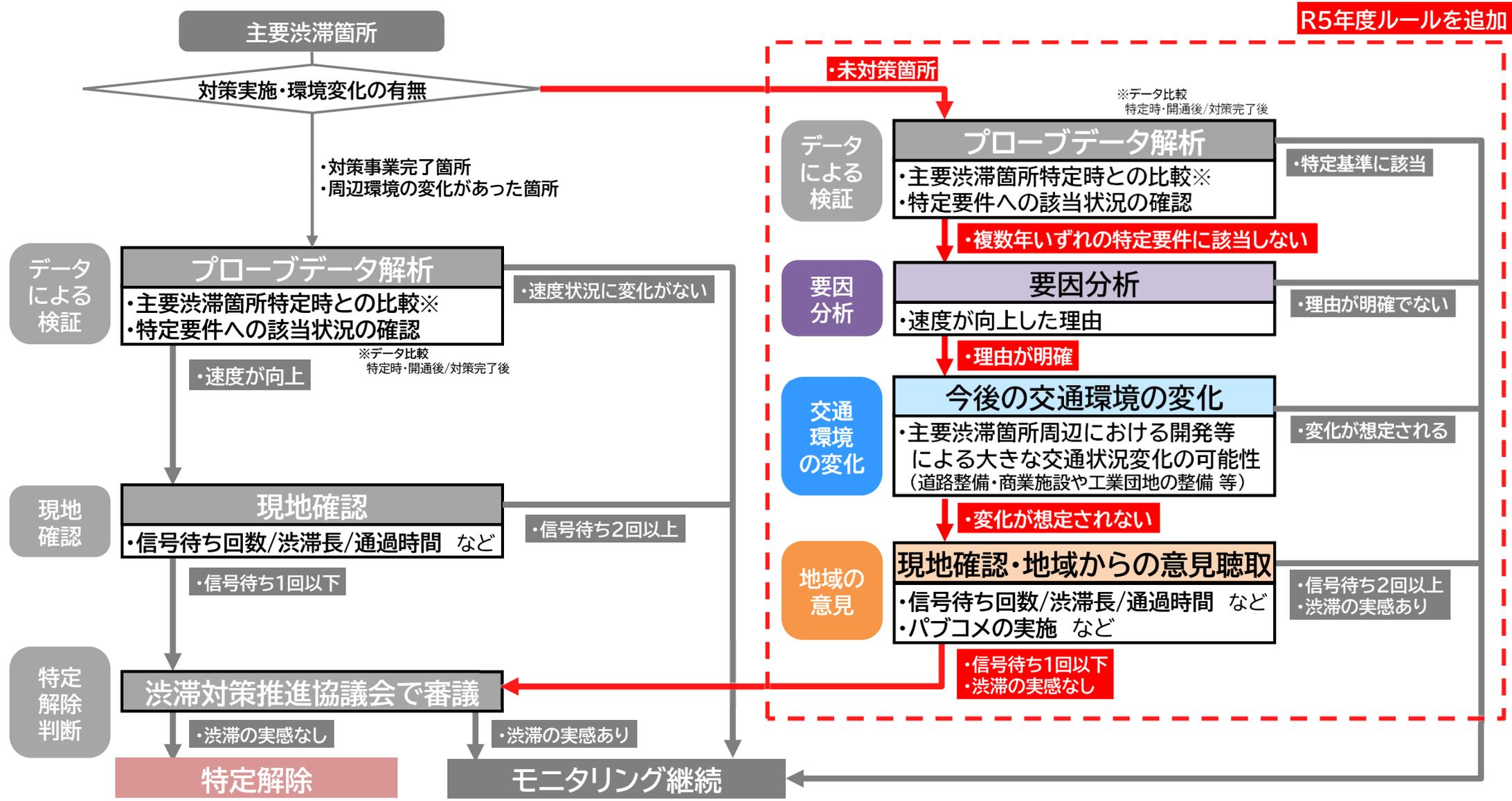
目次

1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討
2. ピンポイント渋滞対策箇所の対策状況
3. TDM施策
4. 盛岡都市圏道路ネットワーク検討
5. 小岩井地区 観光期の渋滞分析
6. 三陸花火競技大会開催時の交通状況
7. 今後の進め方

1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討

1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討(解除フローの見直し(案))

- 未対策箇所でも複数年(3年をイメージ)どの特定要件にも該当しない箇所は解除検証対象とするよう、解除フローの見直しを実施。
- ただし、未対策箇所を解除するには従来のフローで検討できないため、「要因分析」、「今後の交通環境の変化」、「現地確認・地域からの意見聴取」のルールを新たに追加。
- 今年度、引き続きフローの検証のため、抽出された候補箇所に対し現地確認を実施。



1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討(今年度の検討)

- ・フローの見直し案、および第1回岩手内陸エリアWGでの協議結果を踏まえ、盛岡市内の交差点1箇所、一関市内の交差点2箇所の計3箇所を解除候補箇所として選定。
- ・解除候補として抽出した3箇所について、地元自治体と協力し、要因分析、交通環境の変化及び現地確認(渋滞状況の把握)を行った。

未対策箇所であり、3年間(R3~R5年度)いずれの特定要件(平日・休日・冬期)にも該当せず、対策事業の予定がない箇所
6箇所(盛岡市4箇所・一関市2箇所)

第1回岩手内陸エリアWG

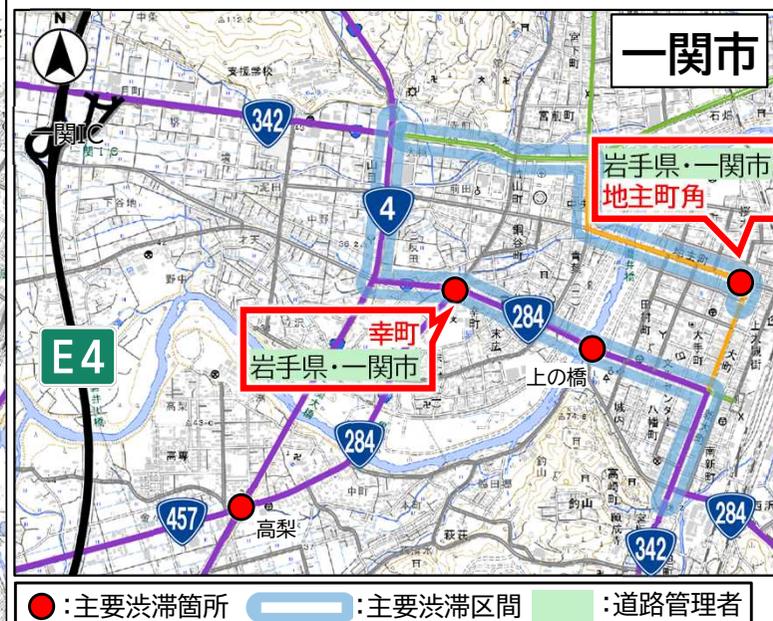
WGを踏まえ、今年度の解除候補箇所
3箇所を選定

(盛岡市:月が丘三丁目交差点
 一関市:幸町交差点、地主町角交差点)

R6.10に通常期、R6.12~R7.1に冬期
 における現地確認を実施

第2回岩手内陸エリアWG

現地確認結果の報告・
 次年度の対応方針の協議



●:主要渋滞箇所 〓:主要渋滞区間 〓:道路管理者

※主要渋滞区間…交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間
 ※地理院地図に交差点名等を表示して掲載

現地確認における調査項目

- ・調査実施時期:10月、12月~1月
- ・調査時間帯:朝ピーク時、夕ピーク時の交通需要が集中する時間を対象
- ・調査項目:①信号待ち回数
 ②渋滞要因
 ③特定時からの周辺環境の変化・道路ネットワークの変化
 ④周辺での対策事業・開発予定など
 ⑤特定時(H24年度)に比べ、渋滞が緩和したと想定される要因
 ⑥その他(渋滞している頻度など)

1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討(月が丘三丁目交差点(盛岡市))

- 主道路である②③方向では渋滞の発生は無し。一方で、従道路側である①④方向は交通量は少ないものの、対向車が多い場合に1回の信号待ちが発生することがあった。

■通常期の調査結果

No	箇所名	方向	路線名	朝ピーク		夕ピーク	
				信号待ち回数	渋滞要因	信号待ち回数	渋滞要因
16	月が丘三丁目交差点						
特定要件…観点⑤冬期(市街地)		①方向	市道	1	・右折レーンがない ・対向直進車が多く右折できない	1	・右折レーンがない ・対向直進車が多く右折できない
交差点流入全方向で2時間連続旅行速度が20km/h未満かつ平日に対する冬期速度低下率が2方向以上で1時間以上50%を超過		②方向	市道	0	-	0	-
(位置図)		③方向	市道	0	-	0	-
		④方向	市道	1	・右折レーンがない ・対向直進車が多く右折できない	0	-
特定時(H24年度)からの周辺環境・道路ネットワークの変化							
無し							
周辺での対策事業・開発予定など							
主道路である②③方向について、H23年度に空間再配分を実施し、路面標示により右折車両の滞留空間を確保。(完成はH24年3月)							
モニタリング結果							
主道路である②③方向は交通量が多く、信号待ち車列は最大で約250mに達していたものの、青現示時間が長く設定(約60秒)されており、一度の青現示時間内に全て通過している。一方で従道路である①④方向は何れも信号待ち台数は10台以下であり交通量は少ないが、右折レーンが無く、青現示時間も主道路に比べ設定が短い(約30秒)ため対向直進車両が多い時間帯では1回の信号待ちが発生している(信号機現示秒数は午前8時00分16秒開始の秒数)。ただし、信号待ちが発生する回数は極めて少ないため信号現示不適には該当しない。							
特定時(H24年度)に比べ、渋滞が緩和したと想定される要因							
特定の前年度に設置した上記路面標示の効果が徐々に発揮されたものと推測される 沿線での開発が進んでいる都市計画道路茨島土沢線及び都市計画道路室小路土沢線等に交通が分散したものと推測される							
確認日時	R6.10.8	朝ピーク	7:30~8:30	夕ピーク	17:30~18:30		

(位置図)



(c) GeoTechnologies, Inc. 許諾番号PL1506

▼交差点の混雑状況等の写真



主道路写真

朝通勤時間

- ・③滝沢市方面から②市内方面に向かう車列
- ・青時間内に滞留車両は全て通過(バスの影響なし)



従道路写真

朝通勤時

- ・①みたけ方面から交差点に向かう車列
- ・右折車がいると後続車両が通過できない



主道路写真

夕帰宅時

- ・②市内方面から交差点に進入する車列
- ・路面標示により右折車両による影響なし



従道路写真

夕帰宅時間

- ・④月が丘方面から交差点に進入する車列
- ・朝に比べ夕方の交通量は少ない

1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討(月が丘三丁目交差点(盛岡市))

- 冬期も通常期同様、主道路である②③方向では渋滞の発生は無く、従道路側である①④方向は交通量は少ないものの、対向車が多い場合に1回の信号待ちが発生することがあった。

■冬期の調査結果

No	箇所名	方向	路線名	朝ピーク		夕ピーク	
				信号待ち回数	渋滞要因	信号待ち回数	渋滞要因
16	月が丘三丁目交差点						
特定要件…観点⑤冬期(市街地)		①方向	市道	1	・右折レーンがない	1	・右折レーンがない ・対向直進車が多く右折できない
交差点流入全方向で2時間連続旅行速度が20km/h未満かつ平日に対する冬期速度低下率が2方向以上で1時間以上50%を超過		②方向	市道	0	-	0	-
(位置図)		③方向	市道	0	-	0	-
		④方向	市道	0	-	1	・右折レーンがない ・対向直進車が多く右折できない
特定時(H24年度)からの周辺環境・道路ネットワークの変化							
無し							
周辺での対策事業・開発予定など							
主道路である②③方向について、H23年度に空間再配分を実施し、路面標示により右折車両の滞留空間を確保。(完成はH24年3月)							
モニタリング結果							
朝の調査時間帯の交通量は平日(10月)に比べて全体的に少なく、混雑は見受けられなかった(夕方の交通量は平日と同程度であったことから、通勤にかかる時間を考慮して早めに自宅を出た方が一定数いたものと推測される)。主道路(②③方向)について、青現示時間が約60秒と長く設定されている事から、夕方においても一度の青時間内に全て通過している。また、積雪や右折待ち車両による影響も見受けられなかった。一方で右折レーンが整備されていない従道路(①④方向)については、青現示時間が約30秒と短い事から、右折車が2台以上の連続する場合においては1回の信号待ちが発生している。ただし、発生頻度は極めて少ないため平日と同様に慢性的な渋滞が発生している状況には該当しない。							
特定時(H24年度)に比べ、渋滞が緩和したと想定される要因							
特定の前年度に設置した上記路面標示の効果が徐々に発揮されたものと推測される。 沿線での開発が進んでいる都市計画道路次島土沢線及び都市計画道路室小路土沢線等に交通が分散したものと推測される。							
確認日時	R7.1.16 (積雪・路面凍結あり)	朝ピーク	7:30~8:30	夕ピーク	17:30~18:30		



(c) GeoTechnologies, Inc. 許諾番号PL1506

▼交差点の混雑状況等の写真



主道路写真
朝通勤時間
・③滝沢市方面から②市内方面に向かう信号待ち車列
・青時間内に滞留車両は全て通過



従道路写真
朝通勤時
右折待ち車両
・①みたけ方面から交差点に進入する車列
・朝は右折車両が少ないため、青時間内に全て通過



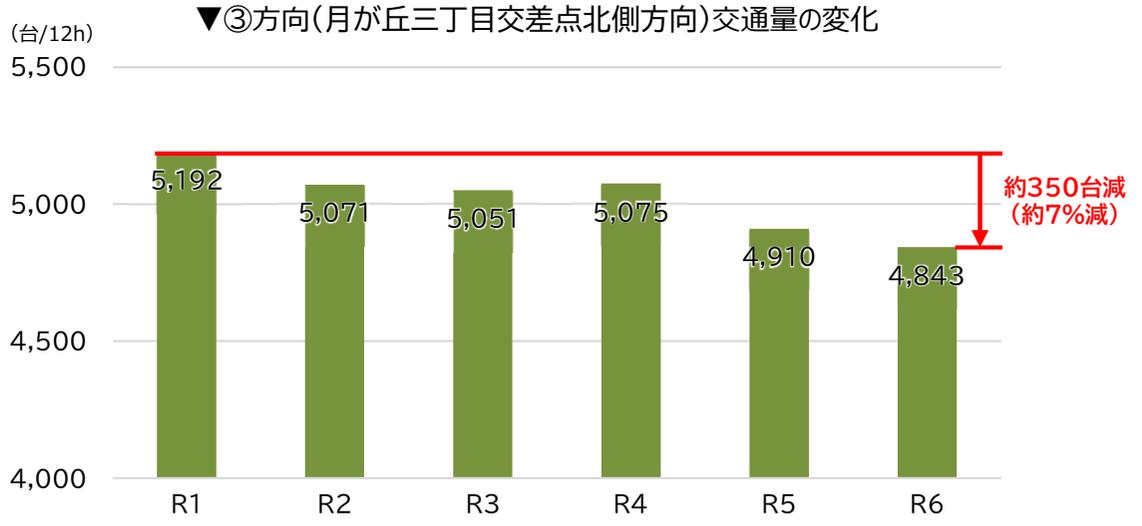
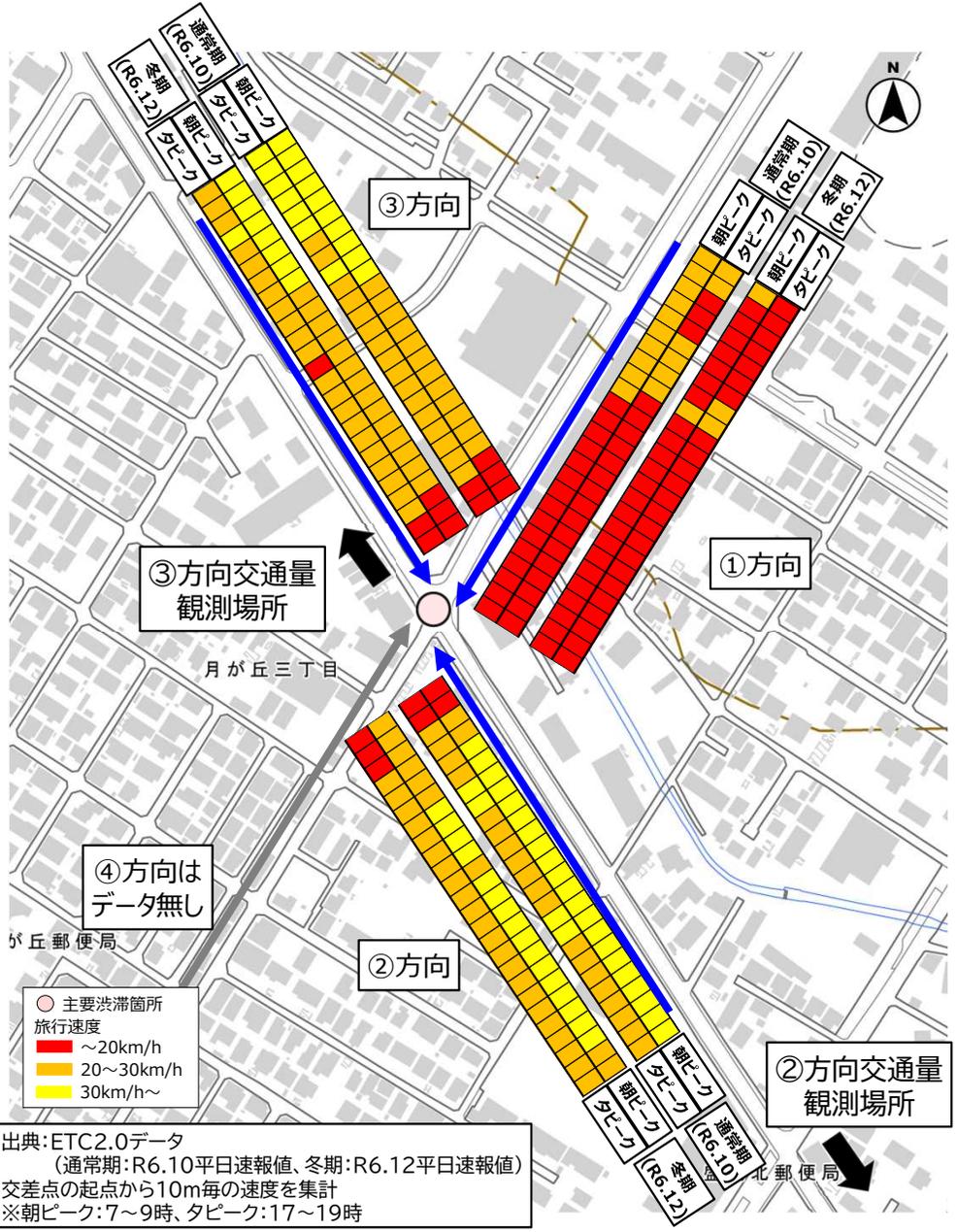
主道路写真
夕帰宅時間
右折待ち車両
・③滝沢市方面から②市内方面を撮影
・両方向とも右折待ち車両がいても直進・左折に影響なし



従道路写真
夕帰宅時間
右折待ち車列
(最大6台)
・①みたけ方面から交差点に進入する車列
・右折車が2台以上並ぶと信号待ちが発生する

1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討(月が丘三丁目交差点(盛岡市))

- 速度状況: 通常期、冬期ともにほぼ同様の傾向であり、②③方向では速度20km/h未満の区間は短い。①方向は速度20km/h未満の区間がやや長いものの、現地確認より慢性的な渋滞ではないことが確認されている。
- 交通量: 交差点付近の昼間12時間交通量は、R1年と比較して、300~350台程度減少。



出典: 「断面交通量情報」(公益財団法人日本道路交通情報センター)を加工して作成 (各年10月平日平均)

1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討(幸町交差点(一関市))

- ③方向以外は2回以上の信号待ちが発生しており、朝は8:00前後に限定的に、夕は17:30~18:00に恒常的に発生。

■通常期の調査結果

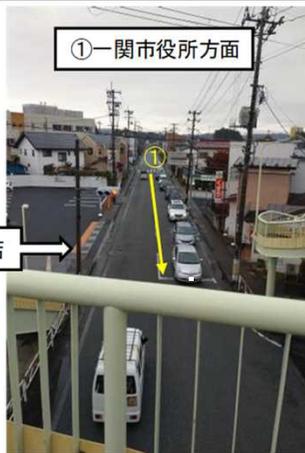
No	箇所名	方向	路線名	朝ピーク		夕ピーク	
				信号待ち回数	渋滞要因	信号待ち回数	渋滞要因
9	幸町交差点						
特定要件…観点⑤冬期(市街地)		①方向	市道	2回	対向直進車が多く右折できない	3回	左折車が多く直進車を妨げる
交差点流入全方向で2時間連続旅行速度が20km/h未満かつ平日に対する冬期速度低下率が2方向以上で1時間以上50%を超過		②方向	国道284号	3回	右折レーンがない	2回	右折レーンがない
(位置図) 		③方向	国道284号	1回	交通量が多い・車線(容量)不足	1回	交通量が多い・車線(容量)不足
		④方向	国道342号	2回	前方交差点の先詰まり	1回	交通量が多い・車線(容量)不足
特定時(H24年度)からの周辺環境・道路ネットワークの変化							
<ul style="list-style-type: none"> ・交差点北側隣接地スーパー「フードパワーセンター・パリュエ」から「クスリのアオキ」へ ・交差点南側隣接地空き店舗からコンビニ「セブンイレブン」へ 							
周辺での対策事業・開発予定など							
国道4号の一関大橋北交差点・高梨交差点間で国土交通省の交通事故対策により4車線化拡幅整備が進められている。							
モニタリング結果							
③④方向は、青信号の時間が十分確保されており、赤信号で10数台停車しても、渋滞はほぼ発生しなかった。							
①②は青信号の時間が短く、右折レーンがないため、大型車が対向直進車があるなかで右折または左折しようとすると、後続車の減速ないし停車が発生している。							
①③方向ではコンビニに入る車両を待って停車するケースもある。渋滞の発生は朝は8:00前後に限定的に、夕は17:30~18:00に恒常的に発生している。							
特定時(H24年度)に比べ、渋滞が緩和したと想定される要因							
平成30年の北上製紙本社・工場、平成31年のNECプラットフォームズ一関事業所等、近年一関市街地に所在する事業所の閉鎖が相次ぎ、通勤時間帯の車両通行が減少している。							
確認日時	R6.10.30	朝ピーク	7:30~8:30	夕ピーク	17:30~18:30		

▼交差点の混雑状況等の写真

④国道4号方面



①一関市役所方面



③一ノ関駅方面



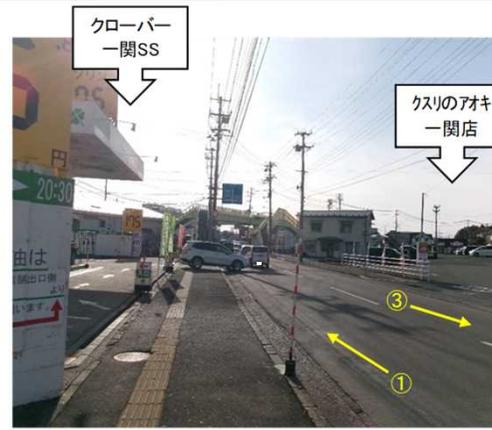
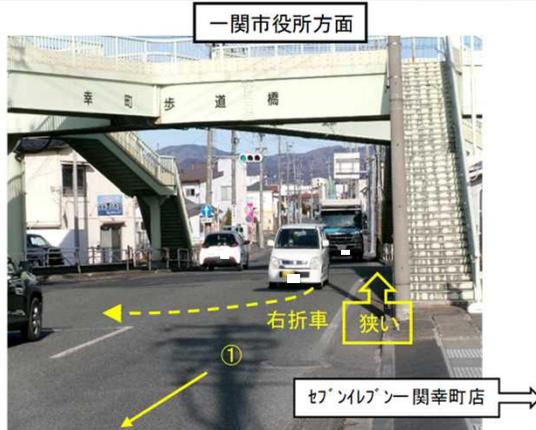
1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討(幸町交差点(一関市))

- 通常期と同様、複数の方向で2回以上の信号待ちが発生。
- ①方向では、先頭の左折車(一ノ関駅方向で先詰まりのため停車)と後続車が大型車の場合、通過スペースが無く直進を阻害。

■冬期の調査結果

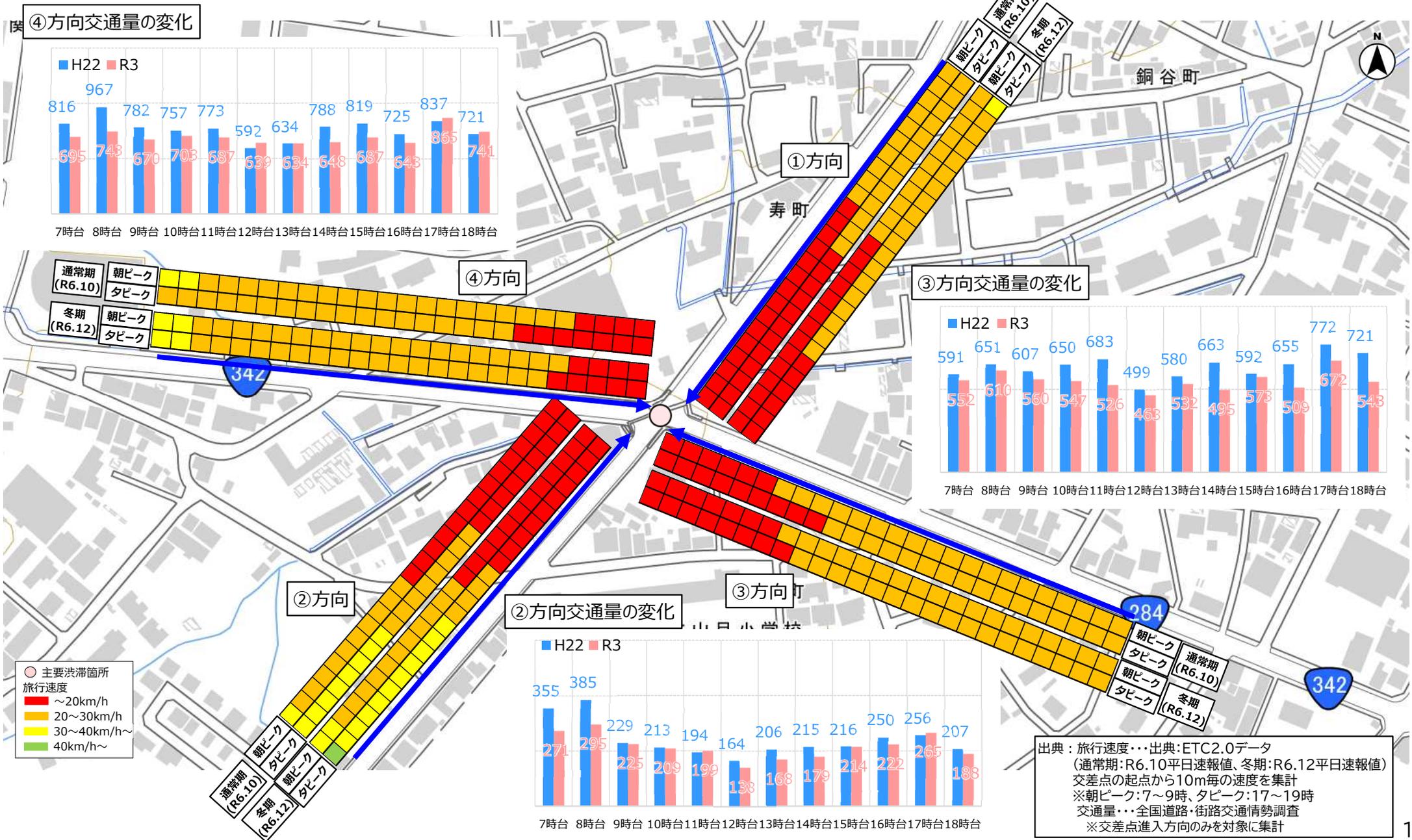
No	箇所名	方向	路線名	朝ピーク		夕ピーク	
				信号待ち回数	渋滞要因	信号待ち回数	渋滞要因
9	幸町交差点						
特定要件…観点⑤冬期(市街地)		①方向	市道	1回	対向直進車が多く右折できない	3回	左折車が多く直進車を妨げる
交差点流入全方向で2時間連続旅行速度が20km/h未満かつ平日に対する冬期速度低下率が2方向以上で1時間以上50%を超過		②方向	国道284号	3回	右折レーンがない	2回	右折レーンがない
(位置図)		③方向	国道284号	1回	交通量が多い・車線(容量)不足	2回	沿道出入車輛が多く交通を阻害
		④方向	国道342号	1回	交通量が多い・車線(容量)不足	1回	交通量が多い・車線(容量)不足
特定時(H24年度)からの周辺環境・道路ネットワークの変化							
<ul style="list-style-type: none"> ・交差点北側隣接地スーパー「フードパワーセンター・バリュー」から「クスリのアオキ」へ ・交差点南側隣接地空き店舗からコンビニ「セブンイレブン」へ 							
周辺での対策事業・開発予定など							
国道4号一関大橋北交差点・高梨交差点間の4車線化拡幅整備が進められている。							
モニタリング結果							
調査日の路面は朝夕ともに乾いており、冬期固有の気象条件の要素は少ない。							
①②は青信号の時間が短く、右折レーンがないため、対向直進車があるなかで大型車両が右折または左折しようとすると、後続車の減速ないし停車が発生している。③方向ではコンビニにて入りする車両を待って停車するケースもある。							
特定時(H24年度)に比べ、渋滞が緩和したと想定される要因							
平成30年の北上製紙本社・工場、平成31年のNECプラットフォームズ一関事業所等、近年一関市街地に所在する事業所の閉鎖が相次ぎ、通勤時間帯の車両通行が減少している。							
確認日時	R6.12.25	朝ピーク	7:30~8:30	夕ピーク	17:30~18:30		

▼交差点の混雑状況等の写真



1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討(幸町交差点(一関市))

- 速度状況: 通常期、冬期ともにほぼ同様の傾向であり、従道路側である①②方向は③④方向に比べ速度20km/h未満の延長が長い。
- 交通量: H22に比べ減少傾向であり、朝ピークは特に交通量の減少幅が大きい。



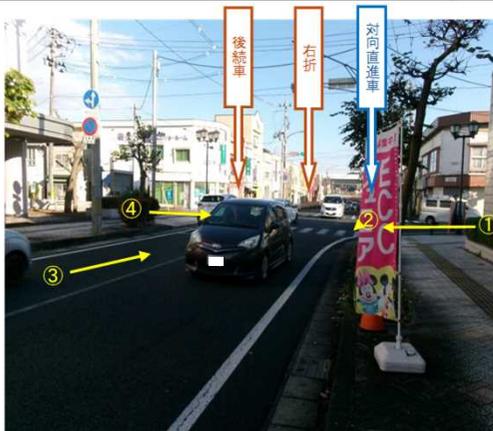
1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討(地主町角交差点(一関市))

- ①②方向では2回以上の信号待ちが発生。
- 渋滞の発生は朝は7:30~8:10、夕は17:40~18:20に、いずれも恒常的に発生。

■通常期の調査結果

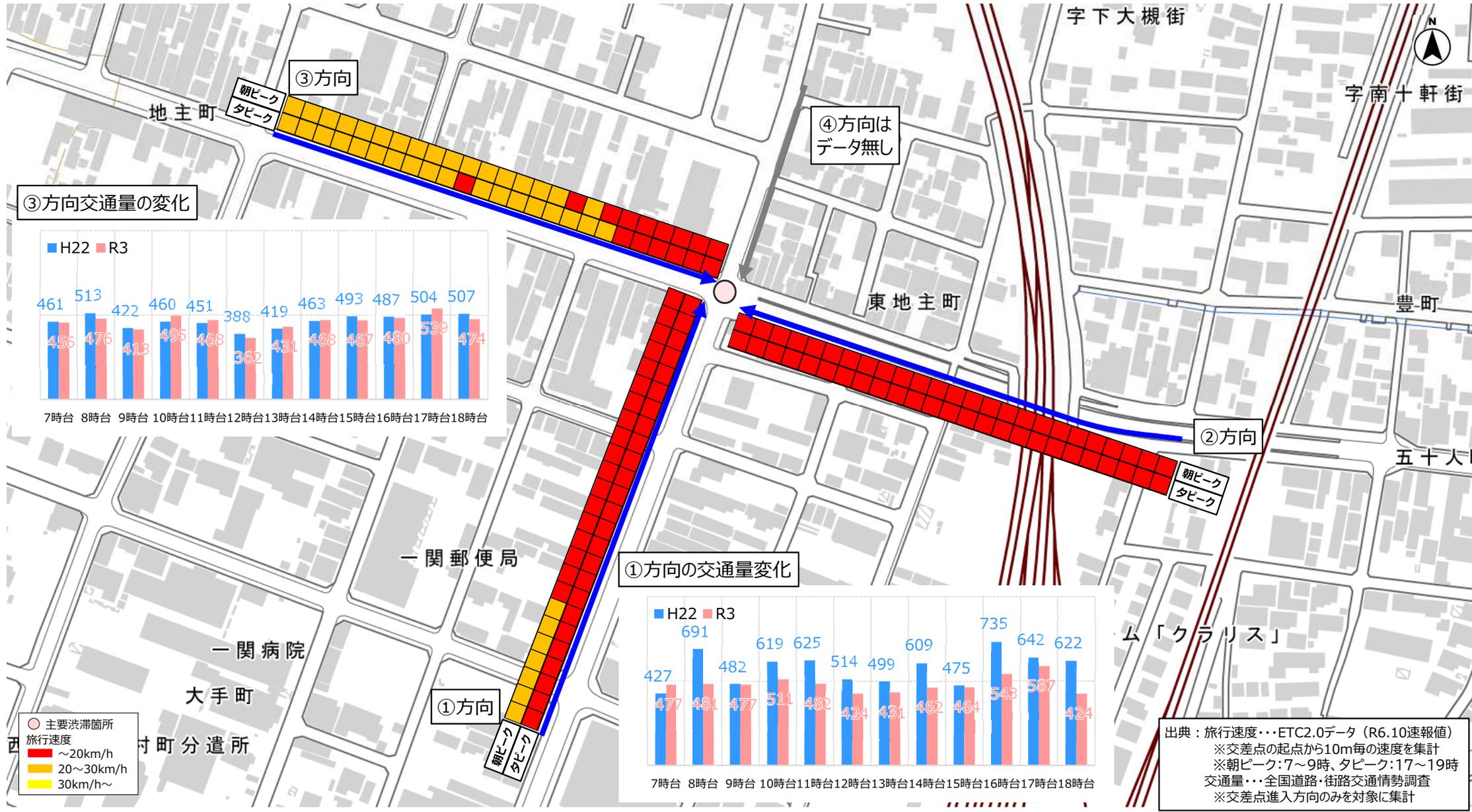
No	箇所名	方向	路線名	朝ピーク		夕ピーク	
				信号待ち回数	渋滞要因	信号待ち回数	渋滞要因
25	地主町角交差点						
特定要件…観点④平日(市街地)		①方向	(県)一関平泉線	2回	右折レーンがない	2回	右折レーンがない
交差点流入全方向で日中の半分以上旅行速度が20km/h程度		②方向	市道	2回	交通量が多い・車線(容量)不足	4回	交通量が多い・車線(容量)不足 左折車が多く直進車を妨げる
(位置図)		③方向	(県)一関平泉線	1回	交通量が多い・車線(容量)不足	1回	交通量が多い・車線(容量)不足
		④方向	市道	1回	交通量が多い・車線(容量)不足	1回	交通量が多い・車線(容量)不足
特定時(H24年度)からの周辺環境・道路ネットワークの変化							
特になし							
周辺での対策事業・開発予定など							
国道4号の一関大橋北交差点・高梨交差点間で国土交通省の交通事故対策により4車線化拡幅整備が進められている。							
モニタリング結果							
②方向に直進した先にある磐井橋が工事のため片側通行となっており、これを避けるため通常地主町交差点を通過している車両が上の橋方面(新大町交差点)や下之橋方面に流れている可能性がある。(10/15現地調査では①方向の夕で信号待ち5回があった。上の橋経由で迂回した車両の可能性もある)							
③④方向はほぼ渋滞は発生しない。①②方向は朝7:30~8:10、夕17:40~18:20恒常的に発生し、それ以外は散発的な発生にとどまっている。							
特定時(H24年度)に比べ、渋滞が緩和したと想定される要因							
平成30年の北上製紙本社・工場、平成31年のNECプラットフォームズ一関事業所等、近年一関市街地に所在する事業所の閉鎖が相次ぎ、通勤時間帯の車両通行が減少していると思われる。							
確認日時	R6.10.30	朝ピーク	7:30~8:30	夕ピーク	17:30~18:30		

▼交差点の混雑状況等の写真



1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討(地主町角交差点(一関市))

- 速度状況: ③方向は速度20km/h未満の延長が短いものの、①②方向は速度20km/h未満の延長が長い。
- 交通量: ①方向の交通量は減少傾向が顕著。③方向は概ね横ばい。



1. 主要渋滞箇所特定要件に関する検討(今後の対応方針)

- 月が丘三丁目交差点は、通常期、冬期の現地確認においても著しい渋滞は確認されなかったため、今年度の冬期の速度状況を踏まえた上で、次年度、特定解除の判断を行う。
- 幸町交差点と地主町角交差点は、2回以上の信号待ちが発生しており、特に地主町角交差点は近隣区間において交通規制を伴う工事が実施されていたことから引き続きモニタリングを行う。
- 現地確認は、速度データ分析結果が実態に沿った結果となっているかどうかを判断する上で有効であることが確認されたことから、次年度以降フローの見直し案を本格的に運用していく。

▼今回の検証箇所

対象交差点	市町村	特定要件	現地確認結果の概要	速度向上の要因・懸念事項など	今後の方針
月が丘三丁目	盛岡市	冬期	<ul style="list-style-type: none"> • 通常期、冬期の調査において、ともに主道路方向の渋滞発生は無く、従道路方向では交通量少ないものの、対向車が多い場合に1回の信号待ちが発生しているが、慢性的な渋滞ではないと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 交通の減少・分散が図られたと想定される。 (WGでの議論結果) ⇒特定時以降の対策は未実施ではあるが、冬期においても慢性的な渋滞が発生している状況にはないので、解除可能と考えている 	<ul style="list-style-type: none"> • 今年度冬期の速度状況を踏まえた上で次年度特定解除を判断
幸町	一関市	冬期	<ul style="list-style-type: none"> • 3つの方向で2回以上の信号待ちが発生。 • 朝は8:00前後に限定的に、夕は17:30～18:00に恒常的に渋滞が発生。 	<ul style="list-style-type: none"> • 近年一関市街地に所在する事業所の閉鎖が相次ぎ、通勤時間帯の車両通行が減少していると想定されるが、依然として、夕方を中心に慢性的な渋滞が発生。 (WGでの議論結果) ⇒引き続きモニタリングをお願いしたい 	<ul style="list-style-type: none"> • モニタリングを継続
地主町角	一関市	平日	<ul style="list-style-type: none"> • 2つの方向で2回以上の信号待ちが発生。 • 朝は7:30～8:10、夕は17:40～18:20に、いずれも恒常的に渋滞が発生。 	<ul style="list-style-type: none"> • 対象地域付近において、交通規制を伴う工事が実施されており、通常と異なる交通流になっていた可能性が想定される。 (WGでの議論結果) ⇒引き続きモニタリングをお願いしたい 	<ul style="list-style-type: none"> • モニタリングを継続

▼フローの運用について

速度データ分析結果が実態に沿った結果となっているかどうかを判断する上で有効。
次年度以降フローの見直し案を本格的に運用

2. ピンポイント渋滞対策箇所対策状況

2. ピンポイント渋滞対策箇所の対策状況

- 今年度は以下のピンポイント対策を実施(または予定)。
- 対策後は効果検証を実施し、次回以降の渋滞対策推進協議会で結果を報告する。

▼効果検証箇所一覧

関連道路事業	市町村名	完了時期	対策内容	備考
県内各交差点(P16参照)	-	R6年度	信号現示等の調整	主要渋滞箇所、道路利用者会議からの要望箇所、関係機関からの指摘箇所以外も含む9箇所

▼対策実施予定箇所

関連道路事業	市町村名	完了時期	対策内容	備考
舟場橋北交差点	盛岡市	R6年度	• 右折レーン延伸	主要渋滞箇所 道路利用者会議からの要望箇所
高梨交差点	一関市	R6年度	• 右左折レーン付加車線の新設 • 右折レーン延伸	主要渋滞箇所 道路利用者会議からの要望箇所

主要渋滞箇所

2. ピンポイント渋滞対策箇所の対策状況(信号現示調整)

・岩手県警において、以下の渋滞箇所について、信号現示等の調整を実施(予定含む)。

- 主要渋滞箇所
- 道路利用者会議からの要望箇所
- その他

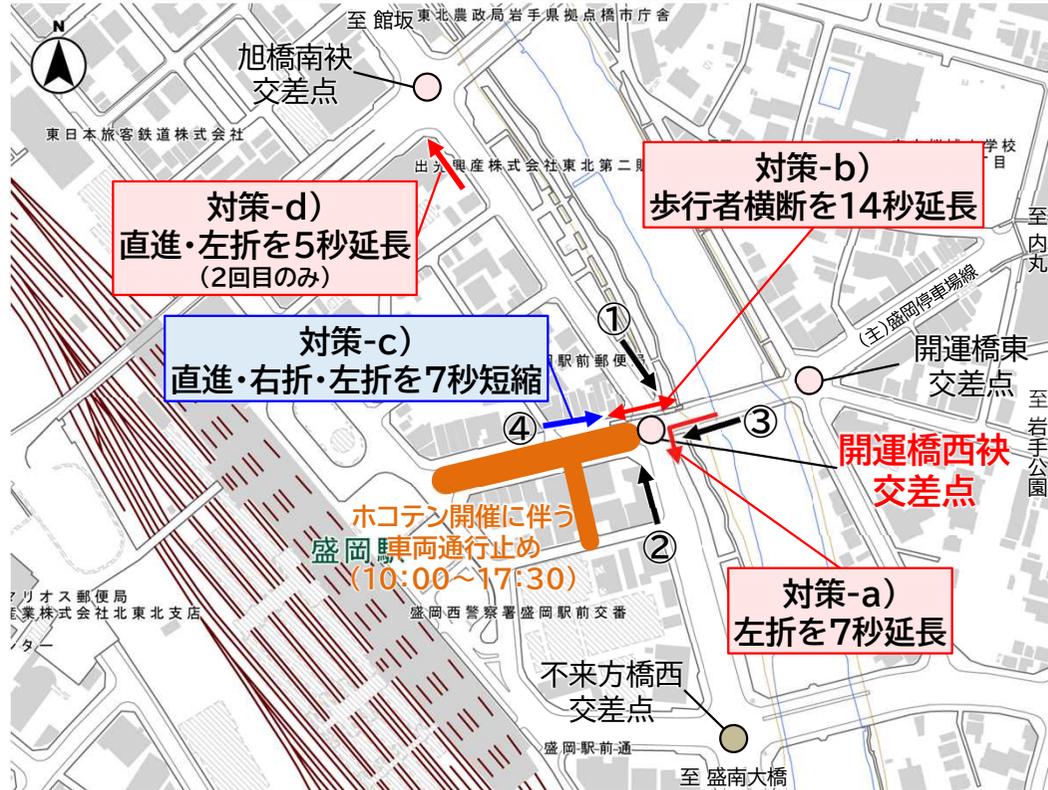
番号	交差点名	所在地	路線名	対策内容	備考
1	まつり会場周辺	盛岡市	(主)盛岡停車場線 ほか	・周期秒数の変更 ・主道路及び従道路の青現示秒数の変更 ・歩時差秒数の変更	・盛岡さんさ踊りに伴う渋滞対策 ・令和6年8月1日～4日
2	開運橋西袂	盛岡市	市道 (主)盛岡停車場線	・従道路の現示秒数の変更	・もりおか駅前開運ホコテンに伴う対応 ・令和6年9月7日、10月5日
3	マラソンコース周辺	盛岡市	国道46号ほか	・周期秒数の変更 ・主道路及び従道路の青現示秒数の変更	・盛岡シティマラソンに伴う渋滞対策 ・令和6年10月27日
4	寺林	盛岡市	国道4号	・時刻設定パターンの変更	・主道路渋滞対策 ・令和6年11月20日
5	志和稲荷神社入口	紫波町	(主)盛岡和賀線	・従道路青現示秒数の変更	・従道路右折待ち渋滞対策
6	北上金ヶ崎I.C口	北上市	国道4号	・管制制御 ・従道路側右折矢印設置	・道路拡幅工事に伴う車線運用の変更に合わせて運用開始 (令和7年2月頃予定)
7	赤鳥居前	北上市	国道4号	・管制制御	・道路拡幅工事に伴う車線運用の変更に合わせて運用開始 (令和7年2月頃予定)
8	榊山稲荷神社入口	盛岡市	国道4号	・主道路及び従道路の青現示秒数の変更	・正月3が日における混雑対策 ・令和7年1月1日～3日
9	神社庁前	盛岡市	国道106号	・主道路及び従道路の青現示秒数の変更	・正月3が日における混雑対策 ・令和7年1月1日～3日

代表検証箇所
 ※主要渋滞箇所や要望箇所、関係機関や一般の方から指摘があった箇所を選定

2. ピンポイント渋滞対策箇所の対策状況((主)盛岡停車場線 開運橋西袂交差点)

・イベント「もりおか駅前開運ホコテン」開催に伴い、盛岡駅前から開運橋西袂交差点までの車道が歩行者天国となることから、周辺の渋滞対策として、信号現示秒数の調整を実施。

位置図・対策内容



■不要な流れを短縮し、他方向の現示へ振り分け

(1)ホコテン1回目(令和6年9月7日(土))

- ・開運橋西袂交差点の現示について、以下の調整を実施
 - 対策-a)③方向からの左折を**7秒延長**
 - 対策-b)交差点北側、③↔④方向の歩行者横断を**14秒延長**
 - 対策-c)④方向からの直進・右折・左折を**7秒短縮**

(2)ホコテン2回目(令和6年10月5日(土))

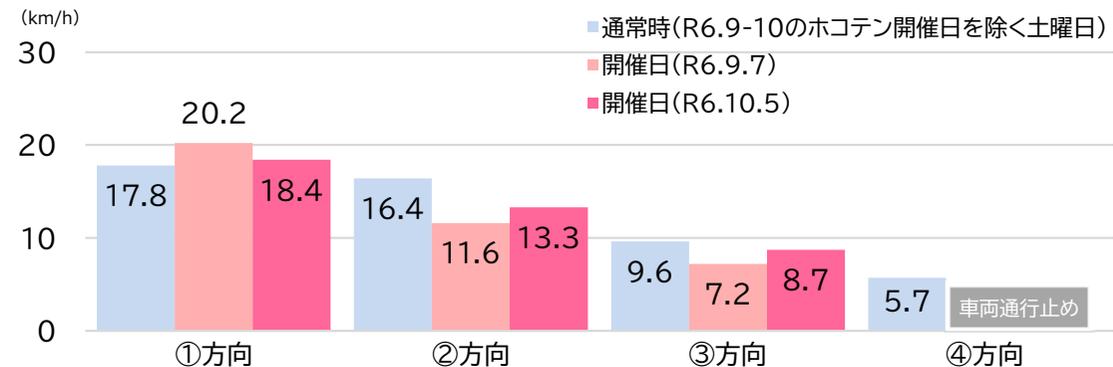
- ・ホコテン1回目の開催時に開運橋西袂交差点を北進する車列が不来方橋西交差点まで伸びている状況が見られたため、先詰まり解消を目的として(1)に加えて以下の調整を実施
 - 対策-d)旭橋南袂交差点の南側流入方向の直進・左折を**5秒延長**

速度状況の変化

時間帯	旅行速度(km/h)											
	①方向			②方向			③方向			④方向		
	通常時	開催日	開催日	通常時	開催日	開催日	通常時	開催日	開催日	通常時	開催日	開催日
10時台	21.7	21.4	21.7	16.2	16.6	15.9	11.0	9.4	9.9	6.4	車両通行止め	
11時台	19.0	20.9	20.3	18.1	12.7	13.0	10.2	6.3	9.6	6.7		
12時台	19.2	20.8	21.4	15.9	9.6	17.1	9.2	7.1	7.7	5.3		
13時台	16.1	24.2	13.8	16.7	15.7	15.9	9.1	5.7	12.6	6.0		
14時台	18.0	15.8	22.3	16.7	8.8	11.0	9.1	7.1	6.6	5.9		
15時台	17.1	18.4	19.9	16.5	11.0	15.3	11.2	9.9	6.9	5.8		
16時台	15.4	20.0	19.3	16.0	11.2	10.0	8.7	5.5	6.9	5.2		
17時台	17.0	22.4	13.7	15.4	11.6	11.7	9.2	10.1	16.1	5.0		
通行規制中平均	17.8	20.2	18.4	16.4	11.6	13.3	9.6	7.2	8.7	5.7		

出典:ETC2.0データ

車両通行止め中の平均速度の変化



出典:ETC2.0データ

モニタリング結果

- ・②方向では9/7は通常時に比べて速度低下が見られたが、10/5は追加対策の効果により、速度低下が緩和。
- ・その他の方向では、通常時に比べて著しい速度低下は見られなかった。

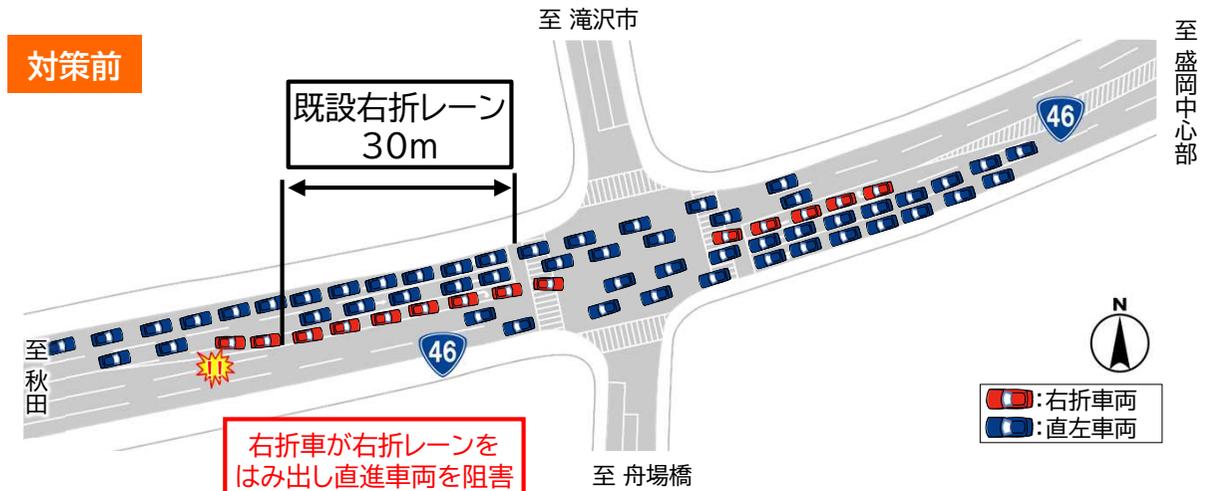
2. ピンポイント渋滞対策箇所の対策状況(国道46号 舟場橋北交差点)

- 道路利用者会議からの要望箇所である国道46号舟場橋北交差点では、右折車が右折レーンをはみ出し、直進車両を阻害することで渋滞が発生。
- 右折レーンを延長することで、交通事故対策と交通円滑化を図る。
- R6.12月に完成。
- 来年度以降、効果検証や特定解除の検討を実施。

主要 渋滞箇所	特定要件	平日	地域	郊外	基準	交差点流入2方向以上で日中の半分以上旅行速度が20km/h未満	分類	道路利用者会議からの要望箇所
							要望機関	(トラック)・バス・タクシー



舟場橋北交差点の対策概要



舟場橋北交差点の状況



2. ピンポイント渋滞対策箇所の対策状況(国道4号 高梨交差点)

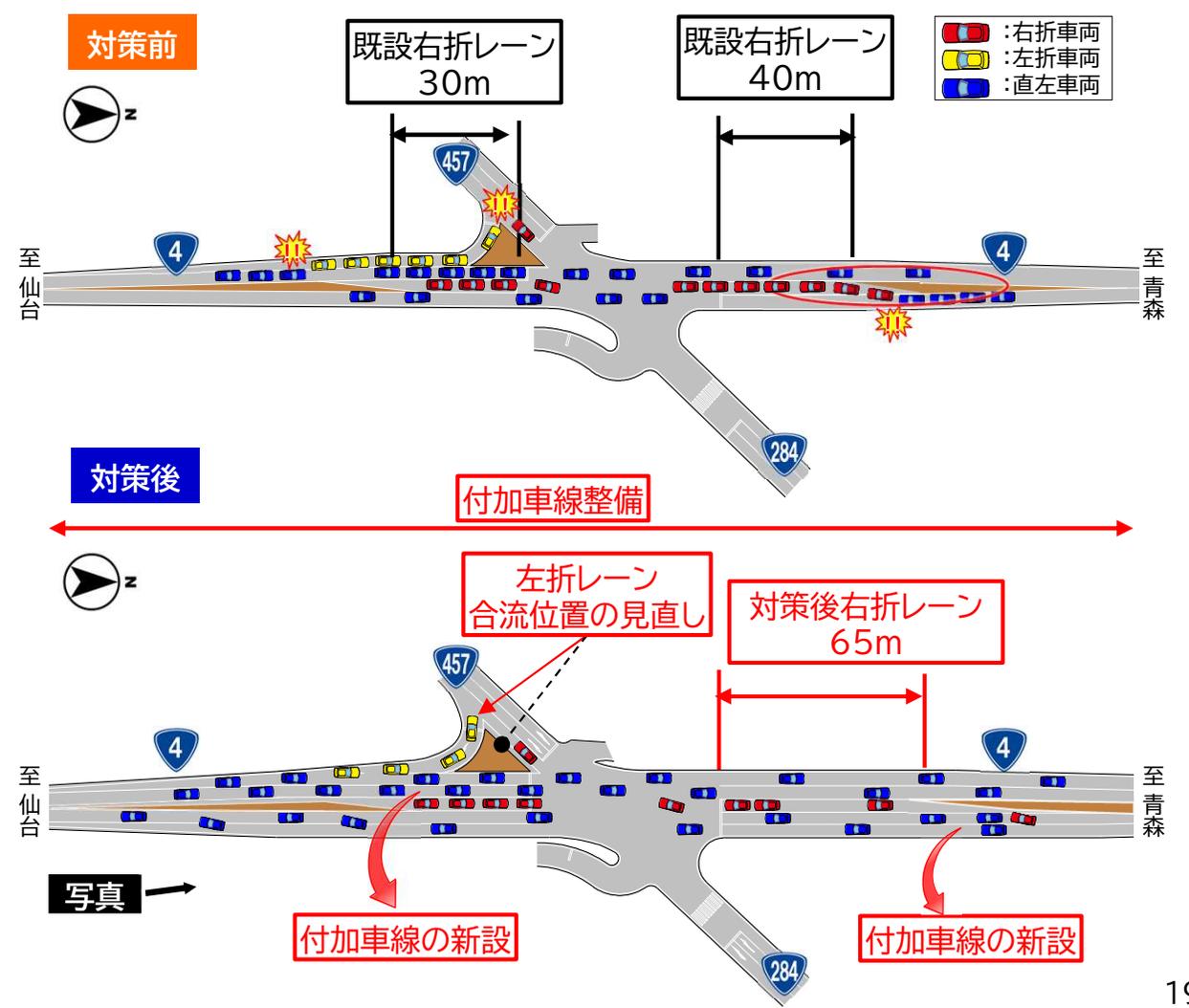
- 高梨交差点は国道4号と国道284号、457号が交わる交差点。
- 一関地区事故対策事業により、付加車線の新設と右折レーン延伸を行い、交通事故対策と交通の円滑化を図る。
- R6.12月に完成。
- 来年度以降、効果検証や特定解除の検討を実施。

主要 渋滞箇所	特定要件	休日	地域	郊外	基準	分類	要望機関
	交差点流入2方向以上で1時間以上旅行速度が20km/h未満かつ平日に対する休日速度低下率が2方向以上で1時間以上50%を超過					道路利用者会議からの要望箇所	トラック・バス・タクシー



高梨交差点の状況

高梨交差点の対策概要



3. TDM施策

3. TDM施策(取り組み状況)

- ・R3年度から時差出勤や公共交通機関利用促進等により渋滞緩和を図るTDM(交通需要マネジメント)の取り組みを開始。
- ・R3年度は盛岡市渋民地区と北上金ケ崎地区、R4年度は一関地区、R5年度は盛岡地区で前潟駅の利用促進に向けたTDM施策を実施。
- ・今年度はR5年度に引き続き盛岡地区で前潟駅の利用促進に向けたTDM施策を実施するほか、一関地区におけるTDMも実施。

▼これまでの岩手県内のTDMの取り組み状況

年度	対象地域	主な目的	該当する主要渋滞箇所	主な取組	実績
R3	盛岡市 渋民地区	国道4号の 渋滞緩和	・渋民BP南口	◎時差出勤の試行 ・広報チラシ・ポスターの配布 ・道路情報板への掲載 ・看板の設置	・ピーク時の交通量が減少 ・旅行速度の20km/h以下区間が短縮し、 速度向上
	北上金ケ崎 地区		・北上金ケ崎IC口	◎時差出勤の試行 ・広報チラシ・ポスターの配布 ・道路情報板への掲載 ・看板の設置	・全体的に交通量が減少したが、旅行速度 に変化は見られなかった
R4	一関地区	一関市中心部の 渋滞緩和	・高梨 ・幸町 ・上の橋 ・地主町角	◎時差出勤の試行 ・広報チラシ・ポスターの配布 ・一関市広報誌への掲載 ・SNSを活用した情報発信	・実施前に比べ、ピーク時の交通量が5% 削減、旅行速度が1割向上 ・混雑区間の通過所要時間が最大1分減 少
R5	盛岡地区	前潟駅の 利用促進、 イベント時の 渋滞緩和	・西バイパス北口	◎公共交通機関利用促進の試行 ・イオンモール盛岡と連携したP&R ・各機関よりHP等への掲載 ・SNSを活用した情報発信	・イベント当日の駅利用者数は通常日より も増えており、イベントによる利用者増 加を確認 ・県外・市外からの利用者も見られた
R6	盛岡地区	前潟駅の 利用促進、 イベント時の 渋滞緩和	・西バイパス北口	◎公共交通機関利用促進の試行 ・イオンモール盛岡と連携したP&R ・各機関よりHP等への掲載 ・SNSを活用した情報発信	・対象イベント数を増やして実施 ・県外・市外からの利用者も見られ、イベ ント時の移動手段としてP&Rは有効で あることを確認
	一関地区	一関市周辺の 渋滞緩和	・高梨 ・幸町 ・上の橋 ・地主町角 ・平泉バイパス南口 等	◎時差出勤の試行 ・岩手河川国道事務所HPへの掲載 ・SNS、YouTubeを活用した情報発信 ・国道4号道路情報板への掲載	・取組の認知度が低く、交通量の転換や速 度の向上といった明確な効果が把握で きなかった ・一方で、市民の方々のTDMへの取組 み意欲があることが確認された

3. TDM施策(盛岡地区(前潟駅と連携したパークアンドライド))

- R6年度は、昨年度よりも実施回数を増やし施策を推進。
- R6年度の実施結果は下記のとおり。
- R7年度もR5、6年度と同様に盛岡市内イベント時に実施することを検討している。

▼周知ポスター



▼現地写真(盛岡さんさ踊り時)



【調査方法】

- 前潟駅発上り列車(盛岡駅行)の利用者に対して聞き取りを行い、パークアンドライド利用(イオンモール盛岡に車をとめて、前潟駅から電車で移動)の有無を確認。
- ※各イベントの開催時間等により、調査時間を決定。

【調査結果】

- 調査時間帯において、一定数のP&R利用者を確認。
- 盛岡さんさ踊り以降、P&R利用グループ数(≒車台数)も確認しているが、約160(台)の利用が確認されている。
- 宮城県や秋田県など県外からの利用者が多数確認され、イベント開催場所への移動手段として一定の効果があることが確認された。

▼R6年度パークアンドライド実施結果

※盛岡市調べ

①日付	②イベント名	③調査日時(便数)	④前潟駅利用者(調査日合計)	⑤P&R利用者(調査日合計)	⑥P&R利用率(⑤/④)
6/8(土)	チャグチャグ馬コ	6/8(土) 6:30~11:00 (5便)	137人	75人	55%
7/3(水)	プロ野球公式戦(16時半頃に中止発表)	7/3(水) 15:30~17:00 (2便)	55人	28人	51%
8/1(木)~4(日)	盛岡さんさ踊り	8/1(木)~4(日) 13:30~19:00 (各5便)	963人	327人	34%
8/11(日)	盛岡花火の祭典	8/11(日) 15:30~19:00 (4便)	78人	15人	19%
10/12(土)~14(月)	北のクラフトフェア	10/12(土) 9:00~11:00 (2便) 10/13(日) 8:00~11:00 (3便)	79人	14人	18%
10/26(土)、27(日)	いわて盛岡シティマラソン	未計測	—	—	—

3. TDM施策(一関地区)

- 今年度はYouTube広告の実施等による広報を実施し、施策取組者の拡充を図った。
- 9月中旬ごろから広報を開始し、10月にTDM施策を実施。

▼今年度の取組

項目	概要
実施時期	10月
広報媒体	YouTube広告、事務所HPやSNSでの発信、道路情報板への掲載
広報対象エリア	一関市、平泉町、奥州市、栗原市
効果検証	一関市中心部の交通量や速度状況の変化を分析
事後アンケート	取組状況や実感した効果、何で取組を知ったか、取組を拡大するための課題等

▼実施フロー



▼協力を呼び掛けたTDM施策

時差出勤	企業・団体が就業時間の見直し、またはフレックスタイム制の導入などを行う、いつもより10分早く家を出る等により、従業員・職員の通勤時間がずれることで、ピーク時間帯の自動車交通を減らす。 ⇒朝のピーク時間帯が避けられ、渋滞もなくスムーズな通勤が可能
交通手段の変更	・自転車や公共交通の利用促進 自動車通勤者に自転車、バスや鉄道を利用した通勤を勧め、公共交通に転換することで自動車交通を減らす。 ⇒CO2排出量の削減など、都市環境の改善に寄与 ・自転車
テレワーク	自宅または職場外で仕事を行うことで、通勤の必要が無くなり、中心部への自動車流入を減らす。 ⇒通勤時間が無くなり、時間の有効活用が可能

▼作成した広報動画

一関市内に通勤の皆様へ
通勤方法を見直して渋滞のストレスを解消しませんか？
 10/1～31
 岩手県渋滞対策推進協議会

TDM(交通需要マネジメントとは)
出勤時間をずらして渋滞を回避!
 5分でも10分でも!マイカーで時差出勤をしてみよう!

便利なのはマイカーだけじゃない!
 自転車や公共交通機関!交通手段を充実してみよう!

職場にいなくても仕事はできる!?
 職種によってはテレワークという手もあります!

広告期間
 …9/23～10/11

一関市内に通勤の皆様へ
10/1火～31木
 是非、渋滞緩和にご協力下さい!
 岩手県渋滞対策推進協議会

▼道路情報板でのTDM協力

10/1～10/31 一関市内渋滞対策推進 ご協力お願いします!!

時差出勤やテレワーク 電車・バスの利用等で 通勤時の渋滞回避!!

表示期間…9/24～10/30
 表示時間…7:00～9:00、17:00～19:00
 表示場所…国道4号の道路情報板5箇所

▼事務所HPやX(旧Twitter)での広報

岩手県一関市内でTDMを推進中!
 【実施期間】令和6年10月1日(火)～31日(木)
 【対象エリア】一関市内中心部
 【対象者】車で通勤している方
 【実施内容】時差出勤等一関市内の渋滞対策にご協力をお願いします!

#TDM #渋滞対策 #一関市

2024年10月01日 10:04・1,786 表示

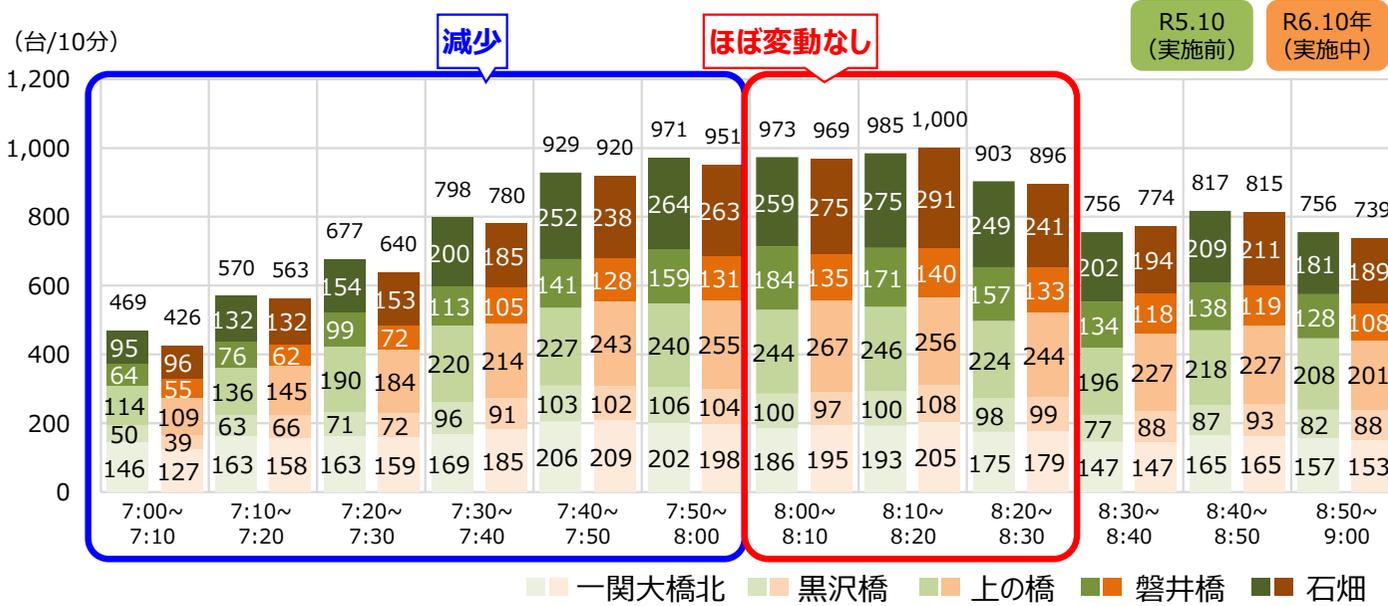
7 リポスト 13 いいね

3. TDM施策(一関地区)

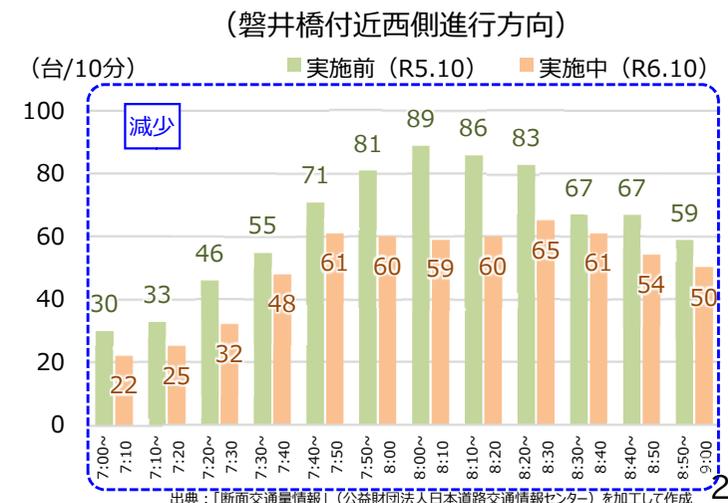
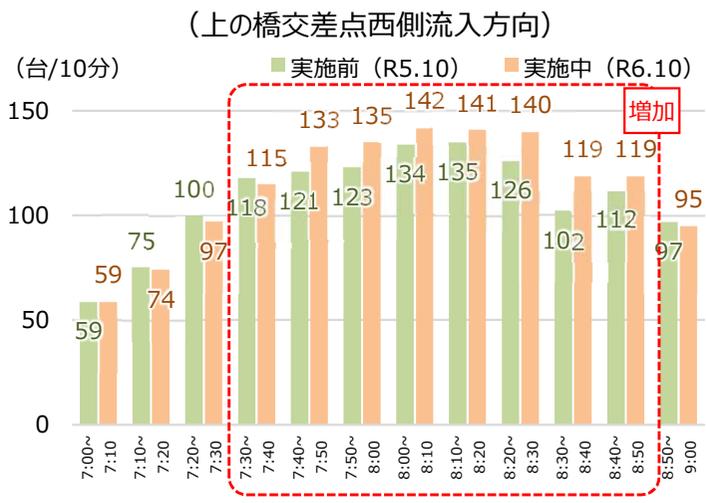
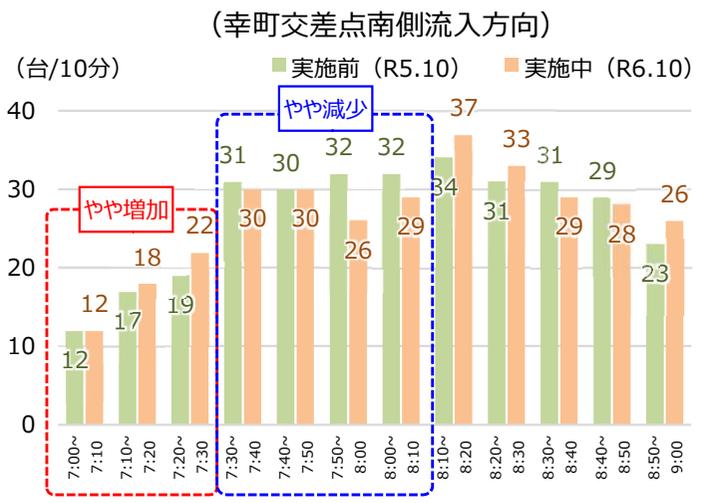
- 一関市中心部の主な断面の交通量は、8時以前はやや減少傾向で、8時から8時30分の間はほぼ横ばいであった。
- 主要渋滞箇所付近の交通量を見ると、幸町交差点南側流入方向の交通量はピーク時交通量が減少しその前の時間帯がやや増加、上の橋交差点は磐井橋の工事による片側交互通行の影響で交通量が増加。



▼一関市中心部主な断面における交通量の変化



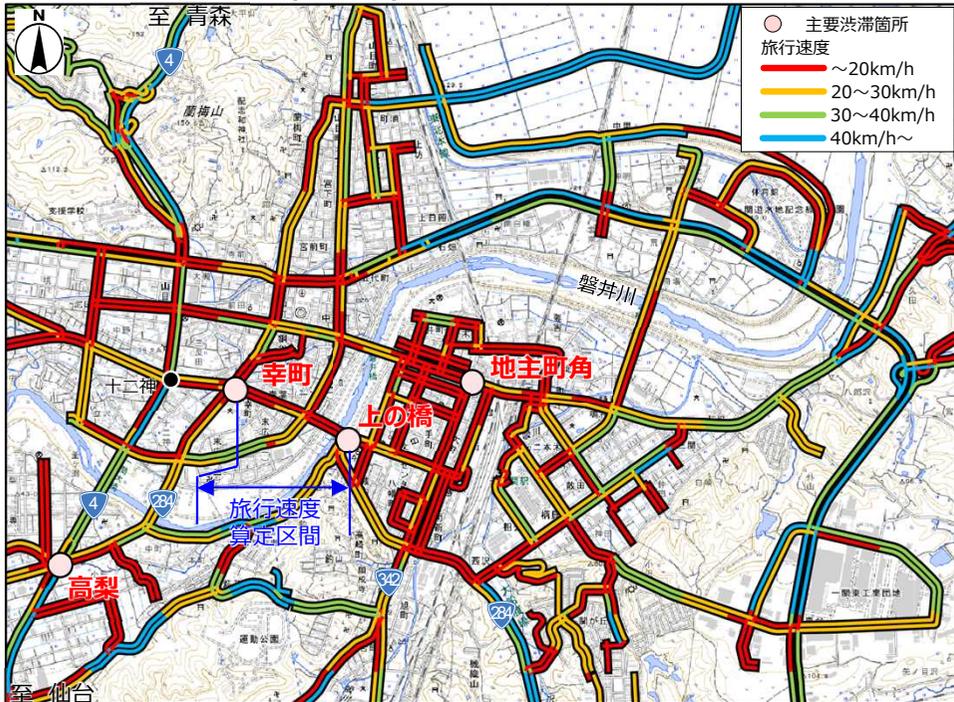
▼主要渋滞箇所周辺の交通量の変化



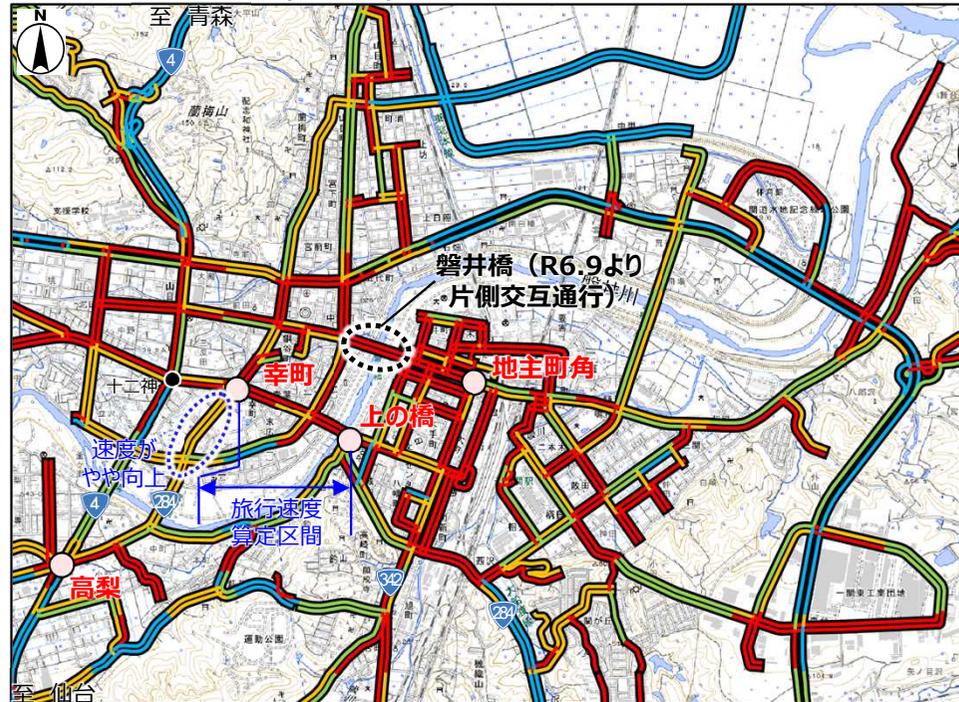
3. TDM施策(一関地区)

- 一関市中心部の速度分布をみると、TDM実施中は30km/h以上の区間がやや増加。
- 主要渋滞箇所に含まれる幸町交差点～上の橋交差点間の速度に大きな変化は見られなかった。磐井橋の工事による片側交互通行により、上の橋付近の負荷が増加したためと想定される。幸町交差点南側は、速度がやや向上したが、ピーク時間交通量がやや転換したためと想定される。

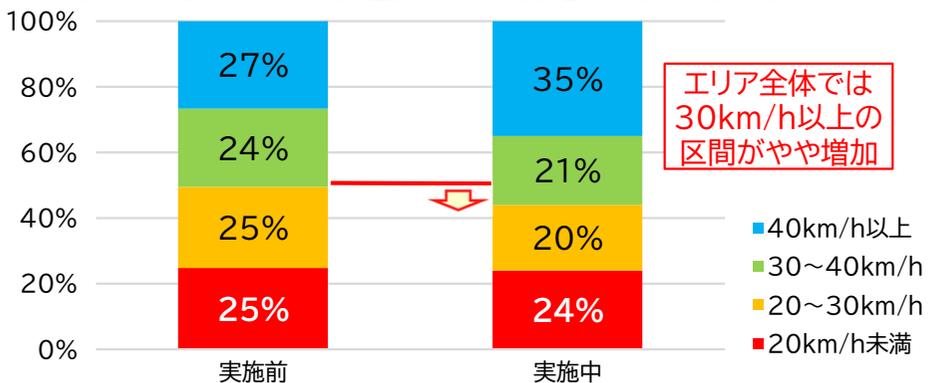
▼TDM実施前(R5.10)の速度状況 (7時45分～8時15分)



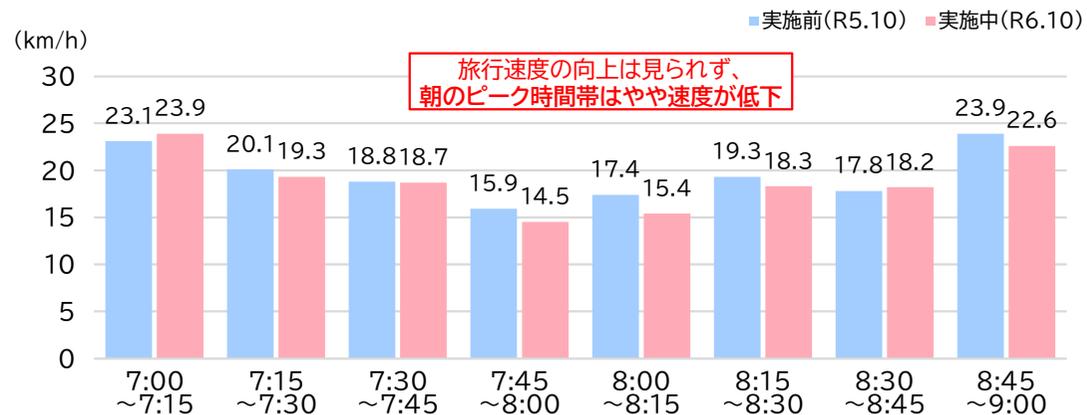
▼TDM実施中(R6.10)の速度状況 (7時45分～8時15分)



▼一関市中心部における速度分布の変化(7時45分～8時15分)



▼幸町交差点→上の橋交差点間の旅行速度の変化



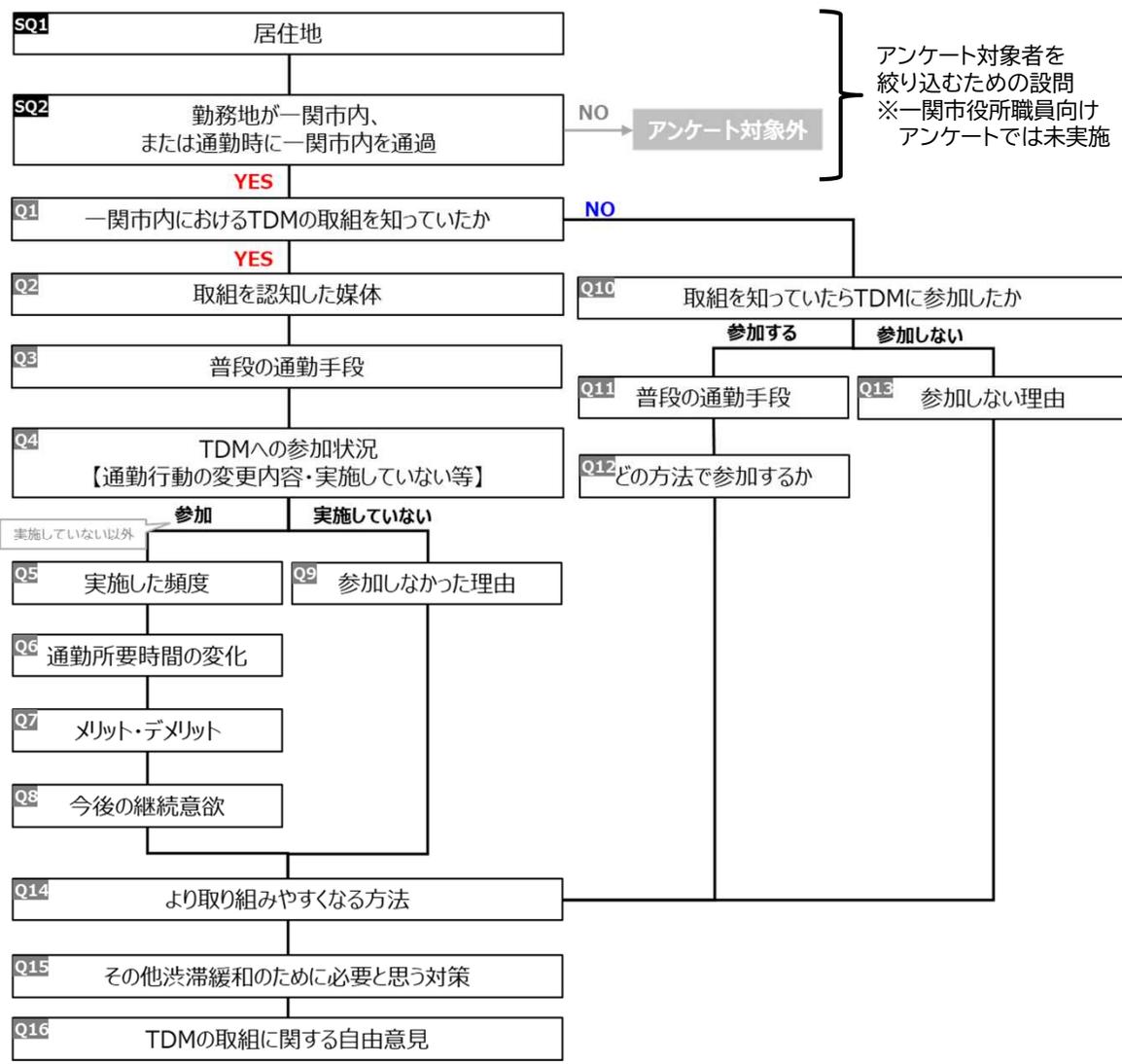
出典:ETC2.0データ(実施前:R5.10平日、実施中:R6.10平日)
 ※左図の速度算定エリアはしないのDIDや工業団地を含むエリアに含まれる主な道路網より算出
 ※高速道路を除く県道以上の道路を対象に集計
 ※速度分布:対象区間内の各速度帯の区間延長の占める割合より算出

3. TDM施策(一関地区 アンケートの概要)

取組の認知度や効果、今後の課題を把握するためにアンケートを実施。

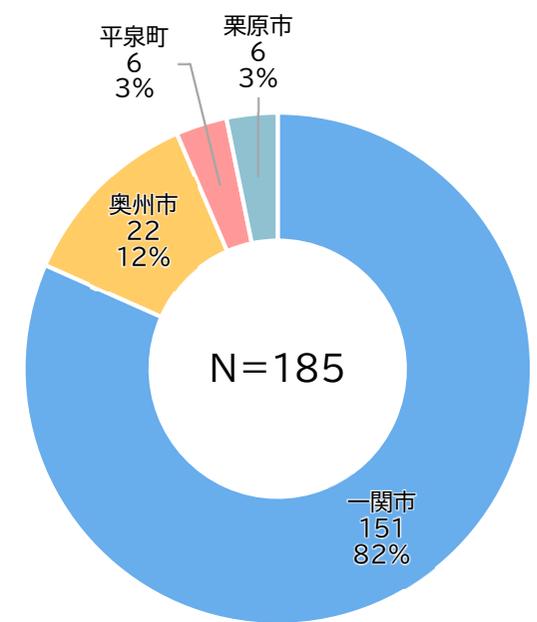
- 調査方法: WEBモニターアンケートおよび一関市役所内アンケート
- 対象者(WEBモニター): 一関市、奥州市、平泉町、栗原市に住んでおり、一関市内に通勤している、または通勤時に一関市内を通過する人
- 有効回答数: 239(WEBモニターアンケート:185、一関市役所:54)

■アンケートの設問



アンケート対象者を絞り込むための設問
※一関市役所職員向けアンケートでは未実施

▼回答者の居住地分布

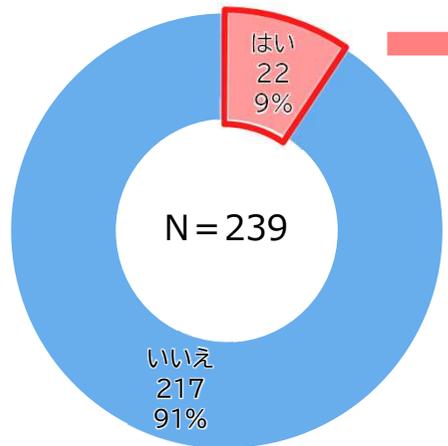


※市役所職員には居住地の設問を設けていないため、モニターアンケートの回答者のみの内訳

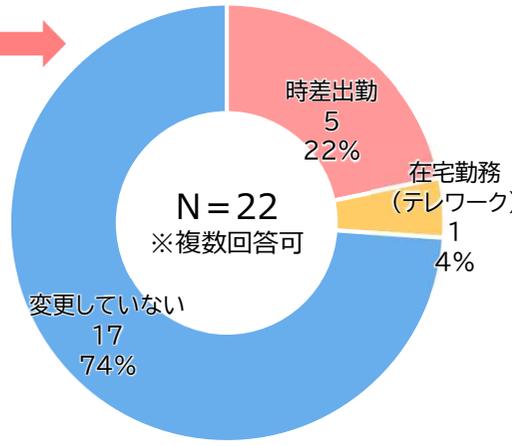
3. TDM施策(一関地区 アンケート結果①)

- 取組を認知している人は約1割(認知した媒体は道路情報板やホームページが多い)であり、そのうち、通勤行動の変更を実施した人は約3割にとどまるが、メリットとして、渋滞のストレスがなくなったなどが挙げられた。
- 取組に参加しなかった理由では、マイカー以外の交通手段が無いための最も多かった。

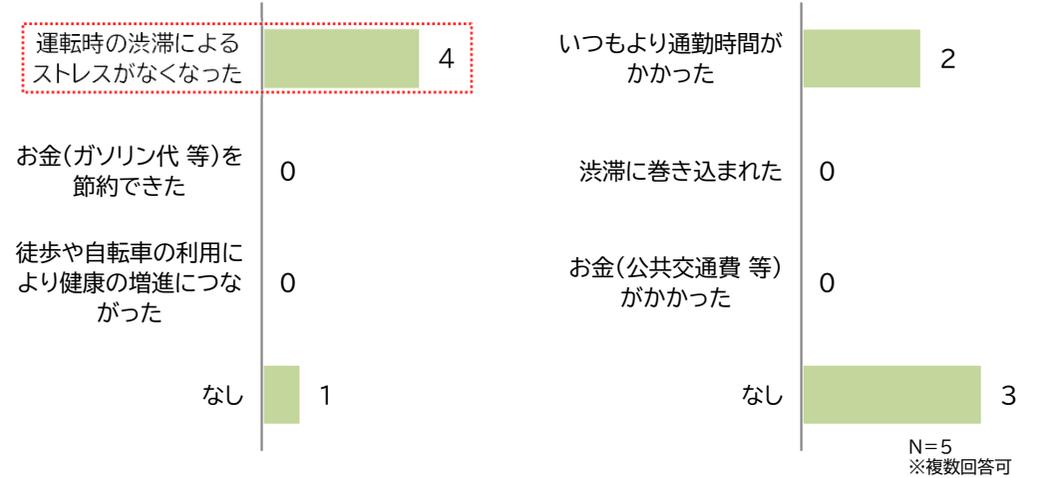
▼「一関市内におけるTDMの取組」を知っていたか



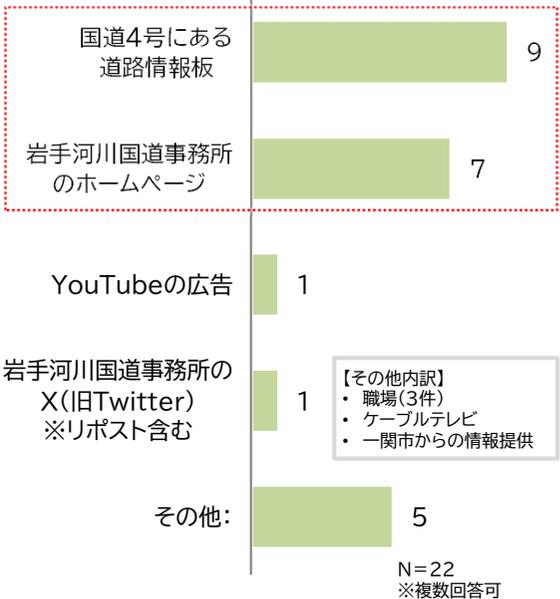
▼どのような通勤行動の変更をおこなったか



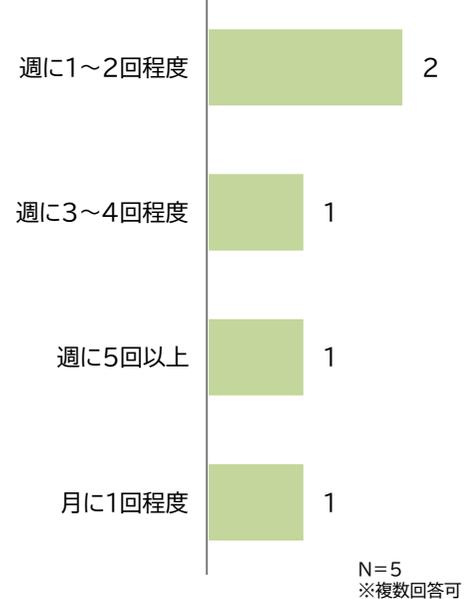
▼メリット・デメリット



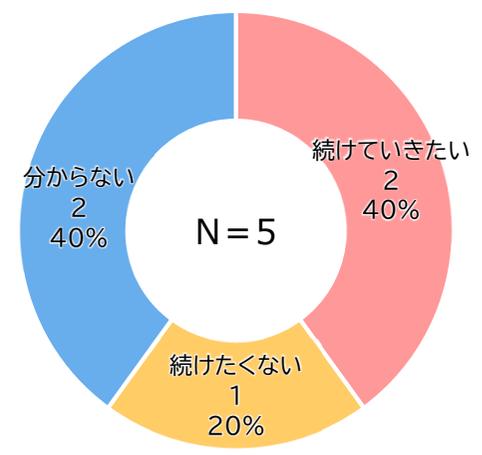
▼ TDMの取組をどのようにして知ったか



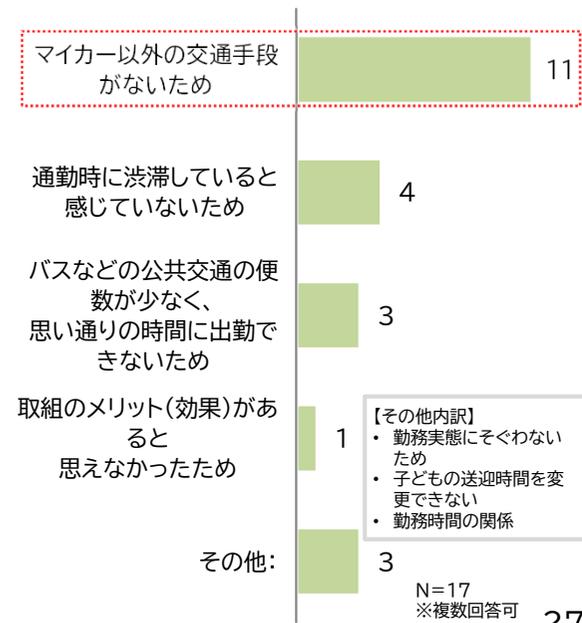
▼どのくらい通勤行動の変更を実施したか



▼今後も「通勤行動の変更」を続けていきたいか



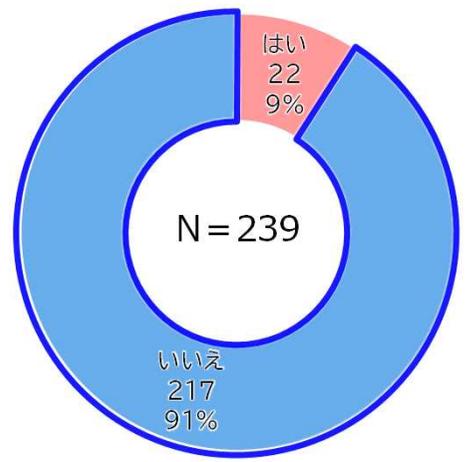
▼取組に参加しなかった理由



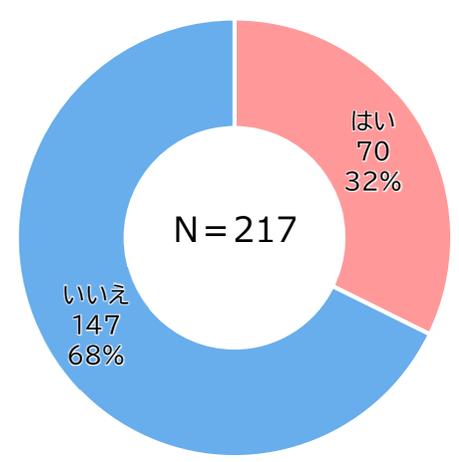
3. TDM施策(一関地区 アンケート結果②)

- 取組を認知していなかった9割の人のうち、取組を知っていたら参加したという人は約3割おり、多くは時差出勤を行うと回答。
- 今回の取組について感じたことでも、広報に関するものが最も多く、より一層幅広い広報を行う必要があることが把握された。

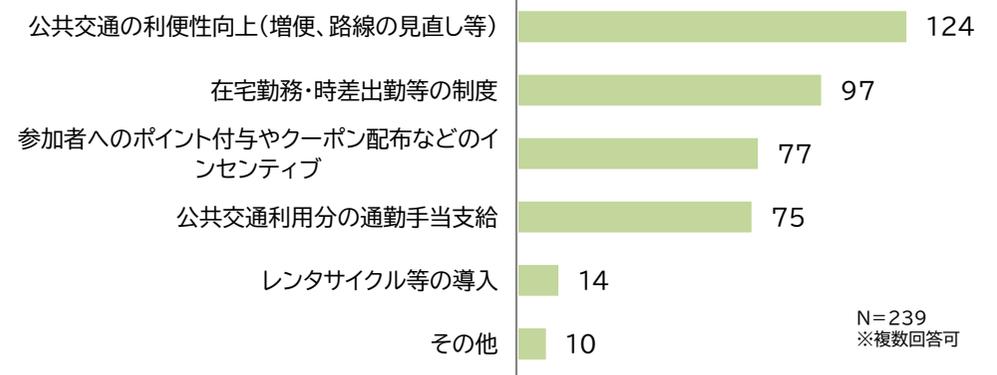
▼「一関市内におけるTDMの取組」を知っていたか



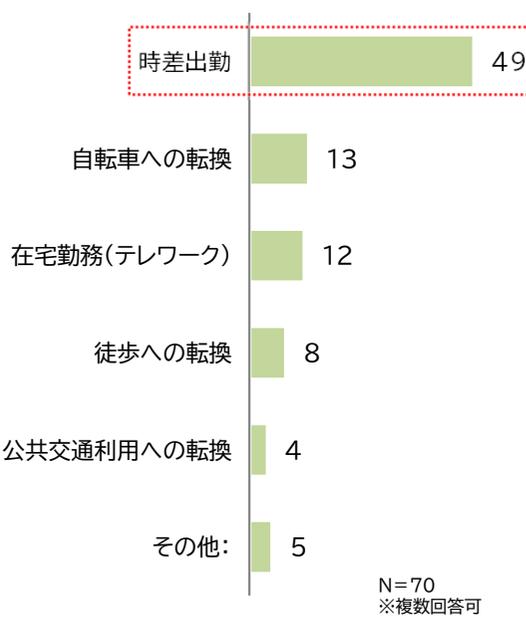
▼「一関市内におけるTDMの取組」を知っていたら取組に参加したか



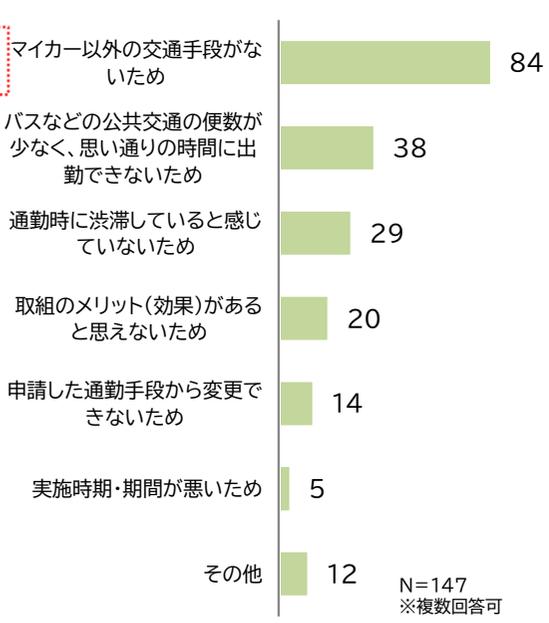
▼どのような点を改善したら「より取り組みやすくなる」または、「取り組みに参加しよう」と思うか



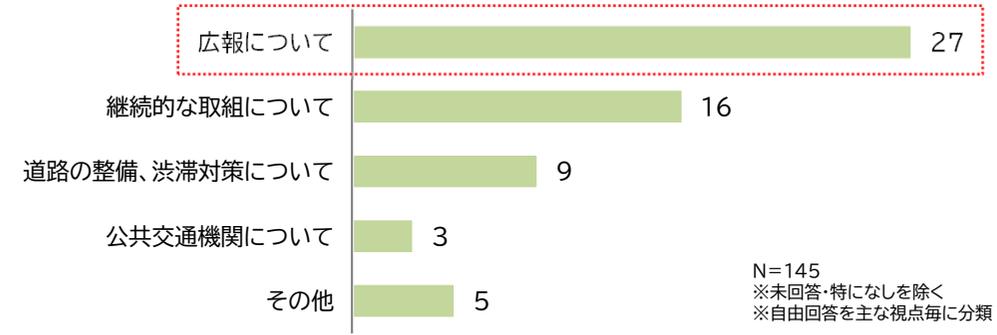
▼どのような通勤行動の変更をおこなうか



▼取組に参加しない理由



▼今回の「一関市内におけるTDMの取組」について感じたこと等



(主な意見)

- 取り組み自体に対して市民の認知が甘いのは**広報不足**だと思う。
- 本取組の周知徹底と、少しでも多く公共交通を移動手段として選択できるような啓発活動(環境問題や公共交通維持を含めたモビリティ・マネジメント)の充実展開が必要と感じました。
- TDM(交通需要マネジメント)という言葉の認知度が低い**ことから、周知が難しいのではないかと感じている。
- 今後の社会的に良い試みだと思う
- 取り組み期間を1週間~2週間程度にしてはどうか
- 電車や路線バスの乗り継ぎ時間をうまく調整して朝や夕方の通勤ラッシュを段階的に解消できるようにしてほしい
- 交通に関するインフラなどの整備だけでは進まないと思う。役所や企業が率先して時差出勤の導入や働き方の変革を並行して行う必要はあると考える

3. TDM施策(一関地区 とりまとめ)

- 今年度はYouTubeやHP、SNS、道路情報板での広報を実施したが、取組の認知度が低く、交通量の転換や速度の向上といった明確な効果が把握できなかった。
- 一方で、取組を知っていたら参加したという人も一定数いることから、取組の内容を分かりやすく伝え、自治体と連携して広報を拡大していくことが必要。

項目	実績
交通量	<ul style="list-style-type: none">• 実施前(R5.10)と実施中(R6.10)における主な断面の交通量を比較すると、8時以前はやや減少傾向で、8時から8時30分の間はほぼ横ばいであった。• 主要渋滞箇所付近の交通量を見ると、幸町交差点南側流入方向の交通量はピーク時交通量が減少しその前の時間帯がやや増加、上の橋交差点は磐井橋の工事による片側交互通行の影響で交通量が増加していた。 <p>⇒TDMの呼びかけに伴う交通の転換は確認できなかった。</p>
旅行速度	<ul style="list-style-type: none">• 一関市中心部の速度分布をみると、TDM実施中は30km/h以上の区間がやや増加。• 主要渋滞箇所である上の橋付近の速度に大きな変化は見られなかった。磐井橋の工事による片側交互通行により、上の橋付近の負荷が増加したためと想定される。 <p>⇒TDMの呼びかけに伴う速度の向上は確認できなかった。</p>
アンケート	<ul style="list-style-type: none">• 取組の認知度が低く、取組への参加者は1割に満たなかった。• 一方で、取組を知っていたら参加したという人も一定数おり、より一層幅広い広報を行う必要がある。

今年度はYouTubeやHP、SNS、道路情報板での広報を実施したが、取組の認知度が低く、交通量の転換や速度の向上といった明確な効果が把握できなかった。一方で、市民の方々のTDMへの取り組み意欲があることが確認された。

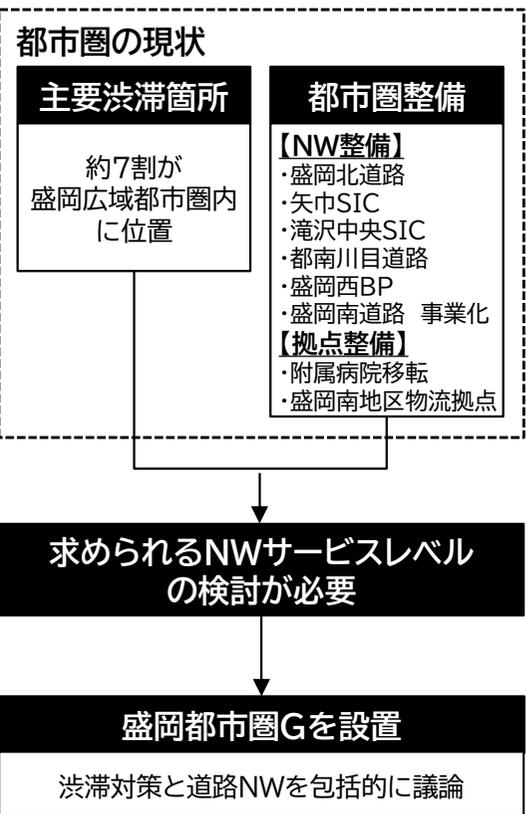
取組の内容を分かりやすく伝えるほか、自治体と連携して広報誌に掲載、市内の企業への呼びかけなどを行い、来年度以降もTDMを継続することにより取組の認知度を高め、渋滞対策への意識醸成を図っていく必要がある。

4. 盛岡都市圏道路ネットワーク検討

4. 盛岡都市圏道路ネットワーク検討(盛岡都市圏Gの設置)

- 岩手県内の現在の主要渋滞箇所67箇所に対し、その約7割にあたる49箇所が盛岡都市圏内に位置している。
- 都市圏内の道路網は、盛岡北道路の4車線化(H28.3)、東北縦貫自動車道の矢巾SIC(H30.3)、滝沢中央SIC(H31.4)の開通、都南川目道路の開通(R1.12)、国道4号盛岡南道路の新規事業化(R4.4)、国道46号盛岡西バイパスの全線4車線化(R7予定)などNW構築が進んでいる。
- また、岩手医科大学附属病院の移転(R1.9)や盛岡南地区物流拠点整備が計画されるなど都市圏を取り巻く環境は大きく変化している。
- これらの変化を鑑み、今後の道路NW計画と渋滞対策を互いに検討し、求められるサービスレベルを達成するための整備を進めることが望ましい。
→岩手県渋滞対策推進協議会に「盛岡都市圏G」を組織し、渋滞対策と道路NWを包括的に議論する。

■ 都市圏道路NW検討の進め方



■ 主要渋滞箇所の現状

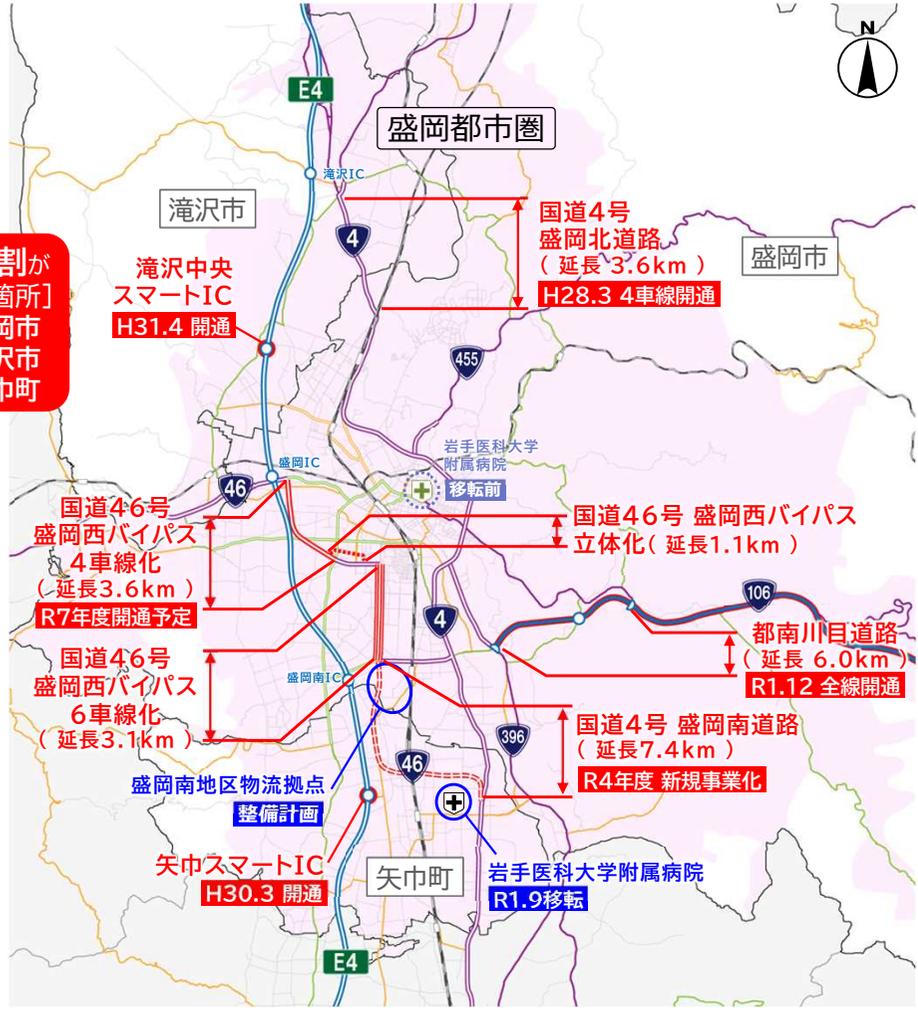
岩手県内における主要渋滞箇所 (H24年度) 77箇所

岩手県内における主要渋滞箇所 (現在) 67箇所

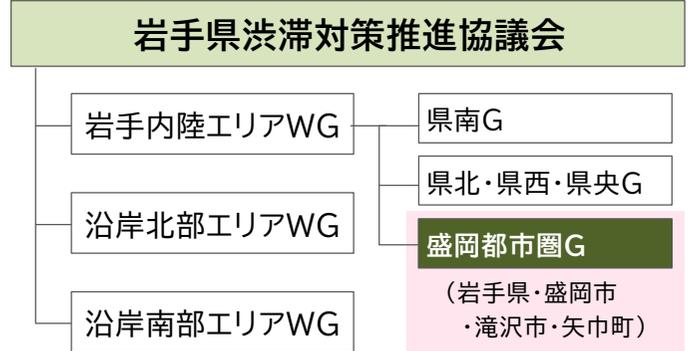
市町村	主要渋滞箇所
盛岡市	44
滝沢市	3
矢巾町	2
一関市	5
金ヶ崎町	3
平泉町	3
北上市	2
雫石町	2
奥州市	1
二戸市	1
一戸町	1
合計	67

約7割が [49箇所] ・盛岡市 ・滝沢市 ・矢巾町

■ 盛岡都市圏の整備・開発動向



■ 「盛岡都市圏G」の位置付け



4. 盛岡都市圏道路ネットワーク検討(R6年度の検討内容及び今後の検討事項)

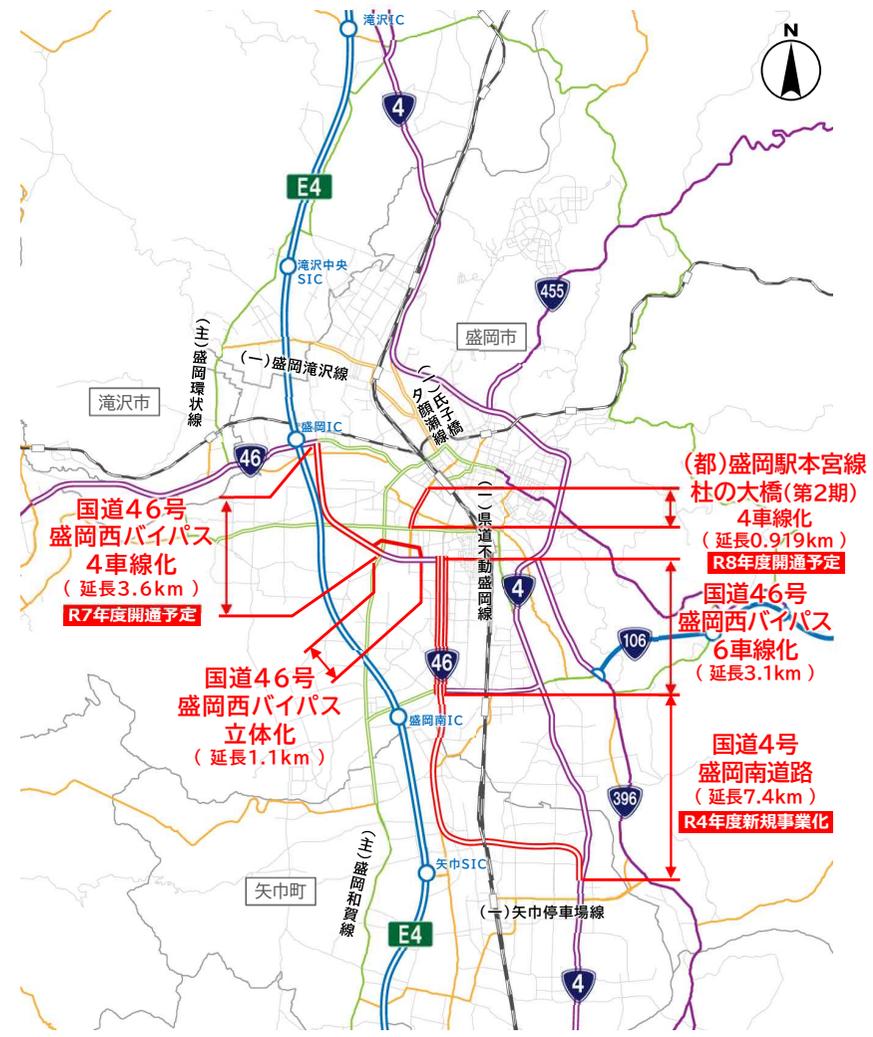
【R6年度の検討内容】

- 第1回WGでは、盛岡都市圏における現況の交通課題(主要渋滞箇所、混雑度、大型車混入率、旅行速度等の課題)と既存計画について整理。
- 第2回WGでは、ネットワーク条件を変化させた将来交通量推計を実施し、都市圏における現況道路交通課題箇所について、交通量・速度・混雑度・大型車混入率及び課題箇所区間内の主要渋滞箇所の変化について整理を行った。
- 盛岡西バイパスの全線4車線化(R7年度完了予定)及び盛岡南道路の整備によって、課題箇所の交通状況については都市圏南側路線の一部が改善傾向となる。
- 一方、大規模事業が無い都市圏北側路線の改善度合いはあまり変わらない。
- 課題箇所以外では、杜の大橋周辺や盛岡南道路周辺にて新たな混雑発生の可能性があるため、都市圏ネットワークとしての検討が必要である。

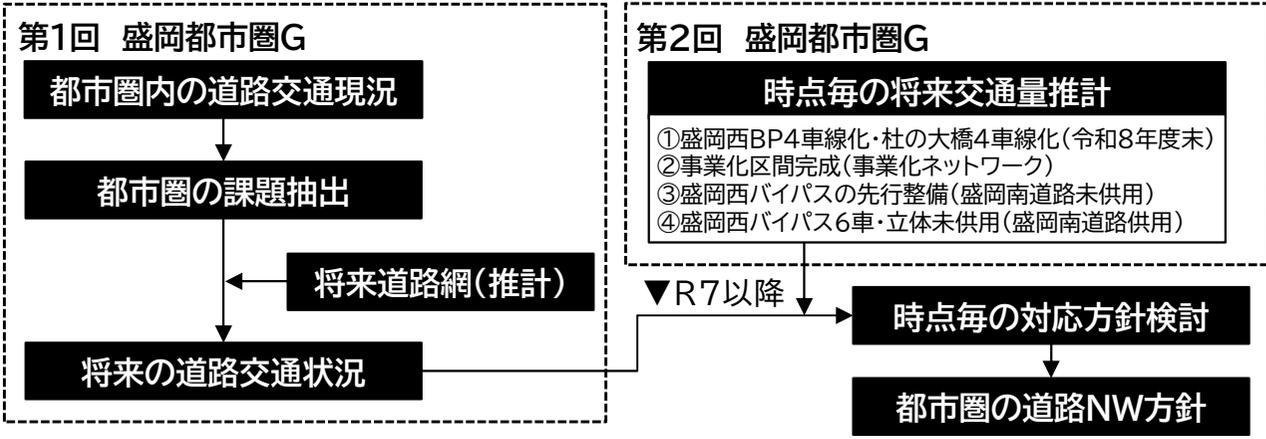
【今後の検討事項】

- 盛岡西バイパスの4車線化及び杜の大橋4車線化完了後も都市圏内には交通課題を抱える箇所が残存する。
- 上記の課題は事業化箇所の整備により解決する箇所もあるが、事業化箇所完成までは一定の時間を要するため、効果的に課題箇所を解消するための事業展開やそれまでの期間に都市圏内で実施するソフト対策などの検討が必要。
- また、事業化箇所完成後、新たに混雑が発生する箇所もあるため、ソフト・ハード対策、局所対策などを踏まえたネットワーク検討が必要。

▼既存計画



▼R6盛岡都市圏Gのフロー



5. 小岩井地区 観光期の渋滞分析

5. 小岩井地区 観光期の渋滞分析(観光渋滞の状況)

- 令和6年ゴールデンウィークの一般道路の交通状況について、ETC2.0プローブデータを用いた分析結果を公表(R6.7.10 道路局企画課)
- 平常時・平日と比べて、ゴールデンウィークの混雑が顕著なエリアは全国で80箇所、東北管内で7箇所、岩手県では1箇所が公表された。
- 全国的にオーバーツーリズムが問題となっており、その対策の一環として観光渋滞に関する分析が必要。

⇒観光地周辺における混雑要因の分析や対策等について、渋滞協で議論

■ 位置図



■本省公表 特に混雑がみられたエリア(80エリア)

都道府県	市町村	主な路線	道路管理者	混雑区間の分析	混雑地域の分析	想定される観光渋滞要因	道路事情
青森県	青森市	国道7号	国	赤	ピンク	-	青森市・弘前市を結ぶ主要な道路
岩手県	雫石町	県道219号	県	赤	ピンク	小岩井農場	-
宮城県	蔵王町	県道12号	県	紫	赤	御釜蔵王エコーライン	-
宮城県	松島町	国道45号	国	紫	ピンク	日本三景松島	-
山形県	遊佐町	国道7号	国	赤	ピンク	-	近傍にIC有
山形県	米沢市	国道121号	県	赤	赤	-	山形県と福島県の県境に位置
福島県	下郷町	県道329号	県	紫	赤	大内宿	-

東北管内合計:7箇所

【混雑区間の分析方法】

- ETC2.0プローブデータを使用
 - 令和6年4月24・25日(平日の昼間12時間平均速度)と令和6年GW(全ての日程の昼間12時間平均速度)を比較
- 【分析結果】
- G.W中の各日における平均所要時間が平日平均の1.5倍以上で1~2日混雑:赤 3日以上混雑:紫

【混雑地域(5km×5kmメッシュ)の分析方法】

- ETC2.0プローブデータを使用
 - 対象道路:一般国道、主要地方道、一般都道府県道、指定市の市道の一部 ※高規格幹線道路及び高速会社管理道路を除いた道路
 - 対象メッシュ:令和3年10月平日、令和6年GW各日の全ての日程で旅行速度が計測されているメッシュ(離島を除く)
 - 平均速度:メッシュ内の全区間の昼間12時間平均旅行速度
- 【分析結果】
- 所要時間が令和3年10月平日平均速度より1割以上増加:ピンク
 - 3割以上増加:赤

混雑区間と混雑地域が重複している箇所を特に混雑がみられたエリアとした

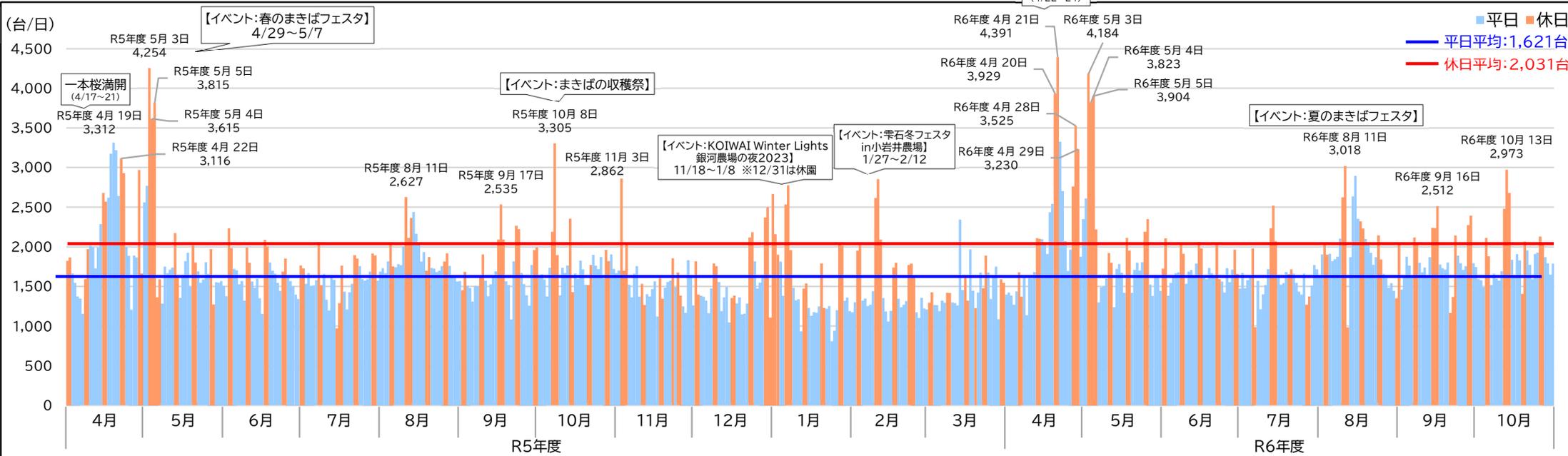


【参考】

報道発表資料:令和6年ゴールデンウィークの一般道路の交通状況
 ~全国的な観光需要の回復傾向と渋滞対策の必要性~
 URL:https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001822.html

5. 小岩井地区 観光期の渋滞分析(分析対象期間の設定)

小岩井農場入口へ向かう直近の県警トラカンデータを集計すると、小岩井農場の一本桜の満開時期やGWに4,000台以上となることもあり、交通需要が通常時に比べ増大している他、お盆やSWにも交通量が3,000台以上となる日も見られる。
 ⇒交通量が特に多い観光期における交通量・速度分析を実施
 ⇒R5年5月3～5日、R6年4月21日、R6年5月3～5日については交通量と旅行速度の詳細分析を実施(下り方向(国道46号から小岩井農場へ向かう方向)にて混雑が確認されていることから下り方向の旅行速度とまきば園ー北行における交通量を整理)

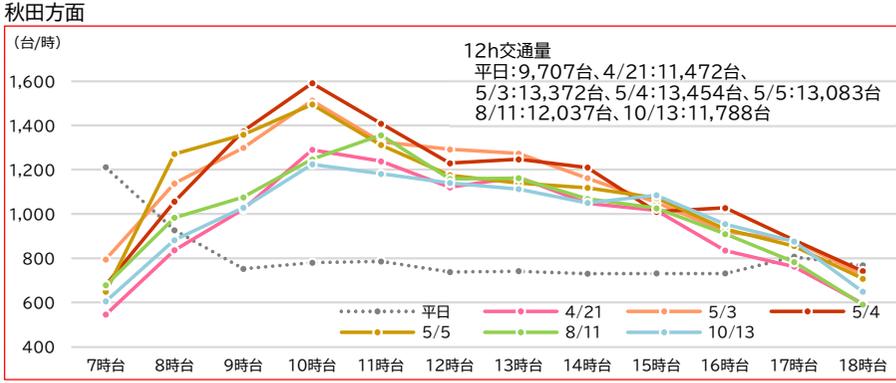


イベント情報は小岩井農場公式Xより

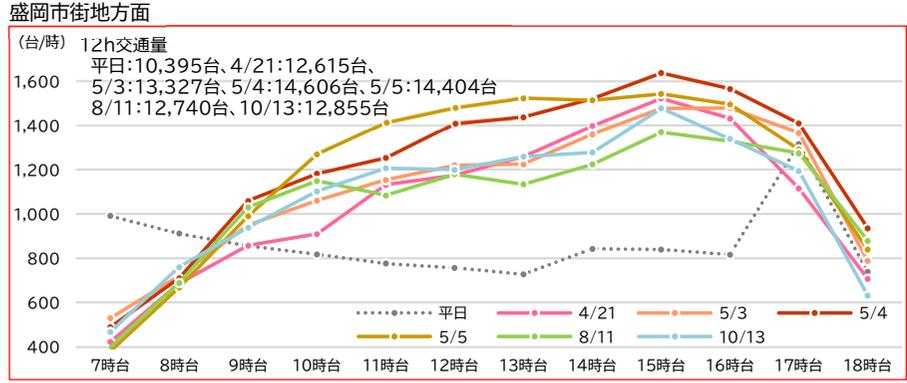
5. 小岩井地区 観光期の渋滞分析(観光期の国道46号・県道219号の交通量(R6年度))

- 国道46号(大釜)の交通量…GWには平日に比べ約1.4倍に増加。お盆やSWにも交通量が約1.2倍に増加。
- 小岩井農場に隣接する県道219号(まきば園-北行)の交通量…桜シーズンやGWには平日に比べ約2.3倍に増加。お盆やSWにも交通量が約1.6倍に増加。昼間12時間交通量が最も多いのは4/21であったが、時間帯交通量で見るとGWの交通集中が顕著。

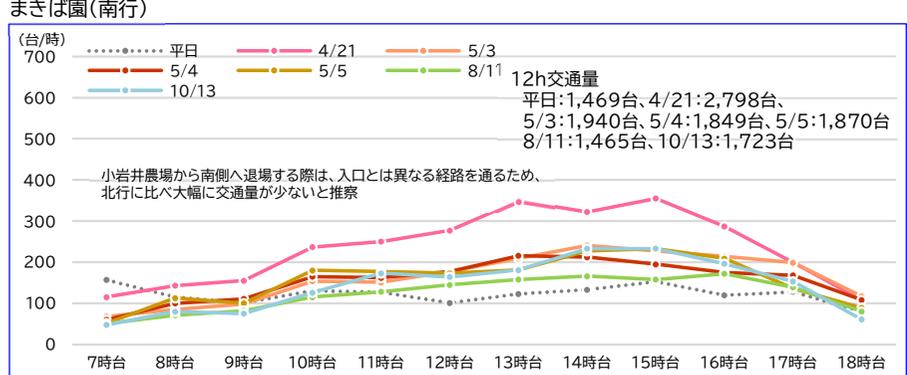
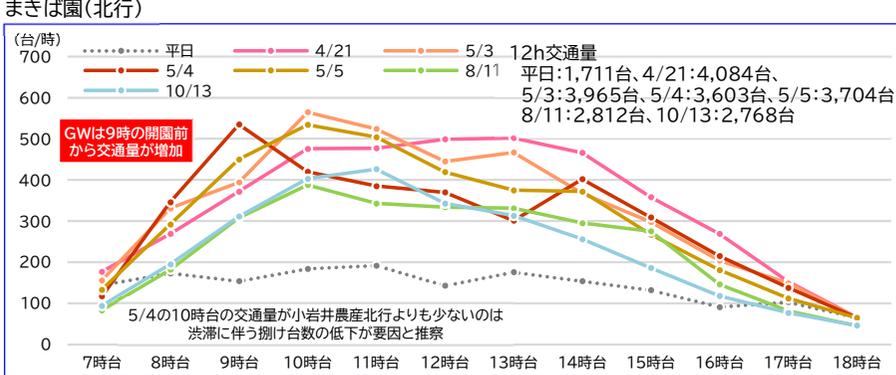
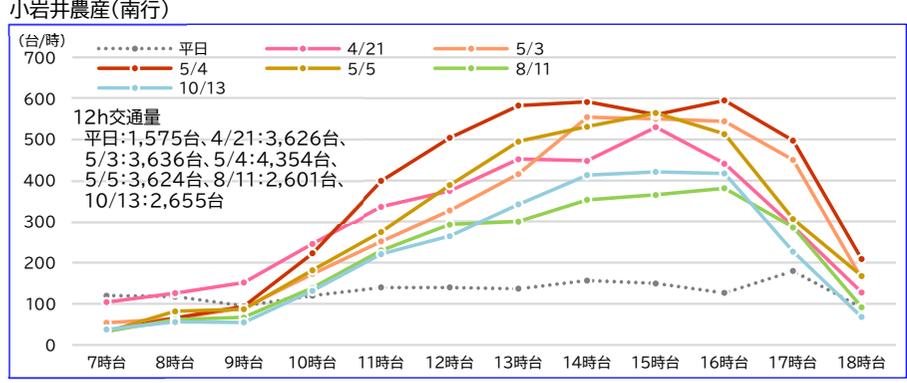
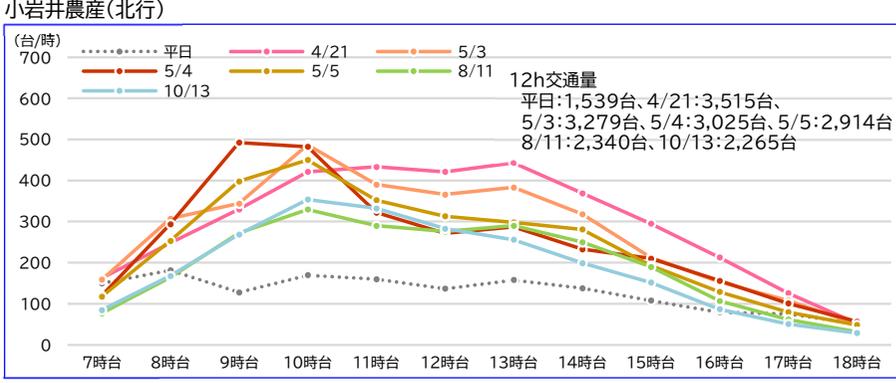
■国道46号大釜の交通量の推移



※平日は代表してR6.4/24~25平均値を掲載

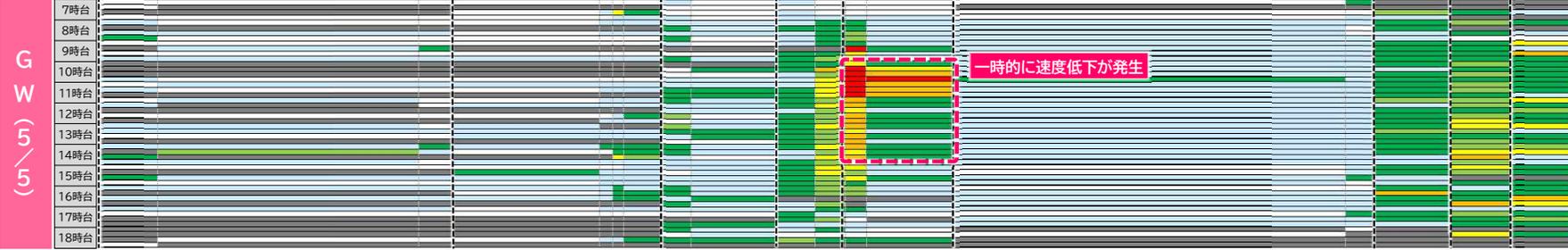
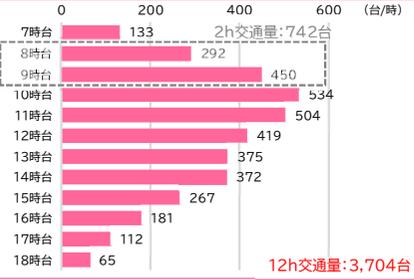
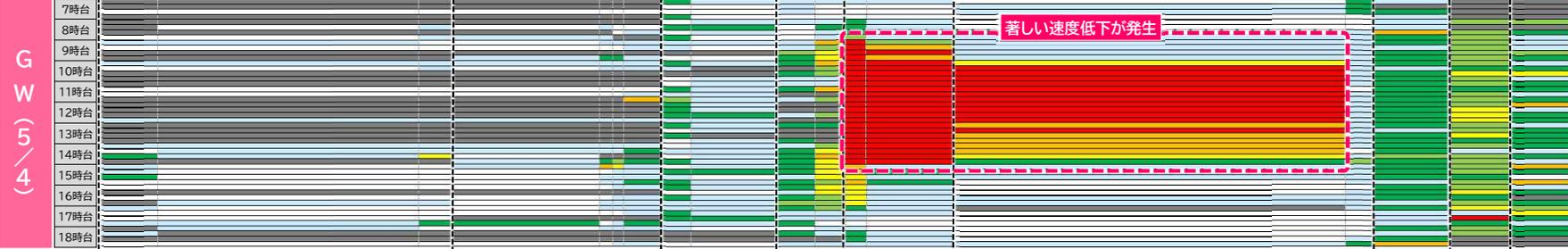
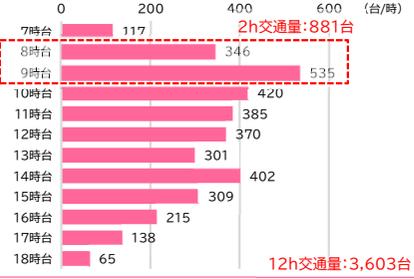
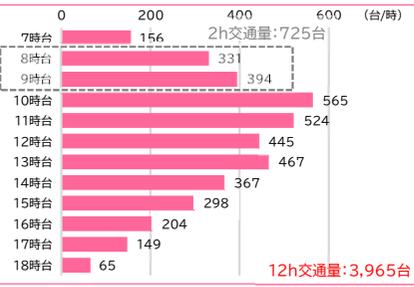
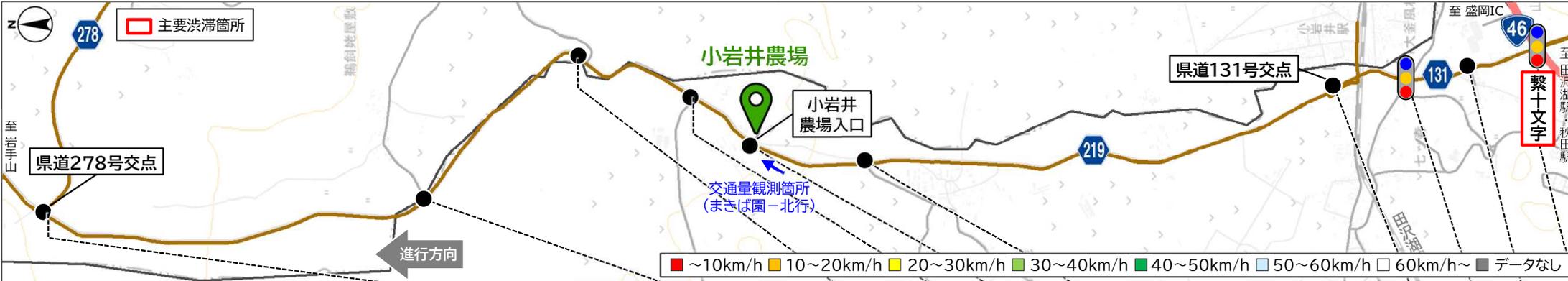


■県道219号の交通量の推移



5. 小岩井地区 観光期の渋滞分析(県道219号の交通量と旅行速度(R6GW))

- R6年5月4日は、開園時間である9時台の交通量が535台と他の日に比べ多く、小岩井農場入口を起点に著しい速度低下が発生。
- R6年5月3日と5日は、小岩井農場入口を起点に一時的に速度低下が発生したが、著しい速度低下は確認されなかった。

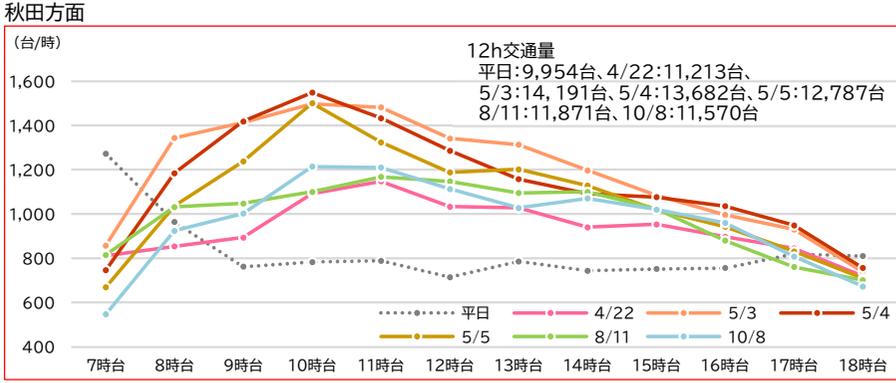


出典:「断面交通量情報」(公益財団法人日本道路交通情報センター) (<https://www.jartic.or.jp/service/opendata/>)を加工して作成

5. 小岩井地区 観光期の渋滞分析(観光期の国道46号・県道219号の交通量(R5年度))

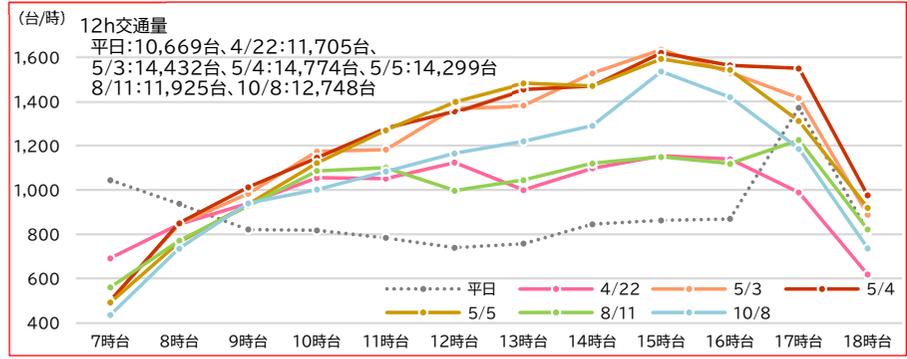
- 国道46号(大釜)の交通量…GWには平日に比べ約1.4倍に増加。お盆やSWにも交通量が約1.2倍に増加。
- 小岩井農場に隣接する県道219号(まきば園-北行)の交通量…桜シーズンやGWには平日に比べ約2.1倍に増加。お盆やSWにも交通量が約1.7倍に増加。GWは開園前の8時台から交通量が増加。

■国道46号大釜の交通量の推移

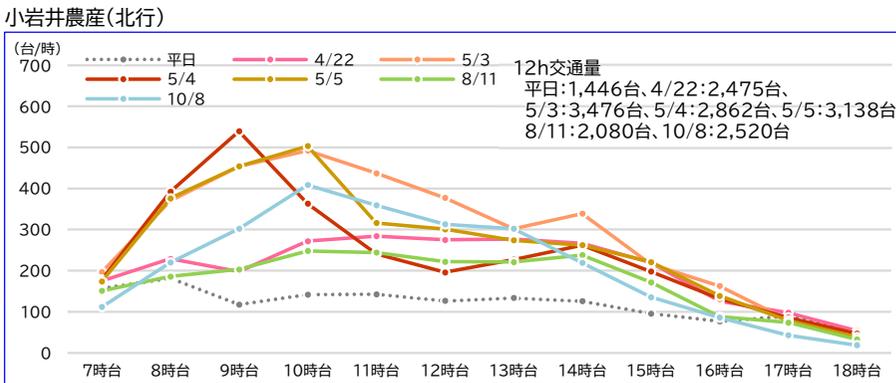


※平日は代表して4/24~28平均値を掲載

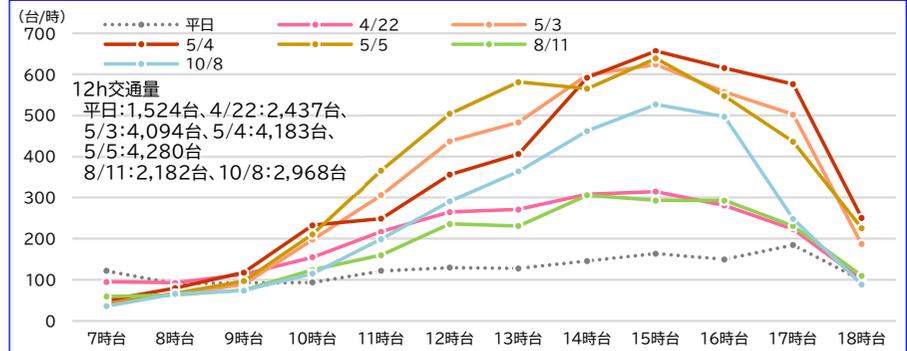
盛岡市街地方面



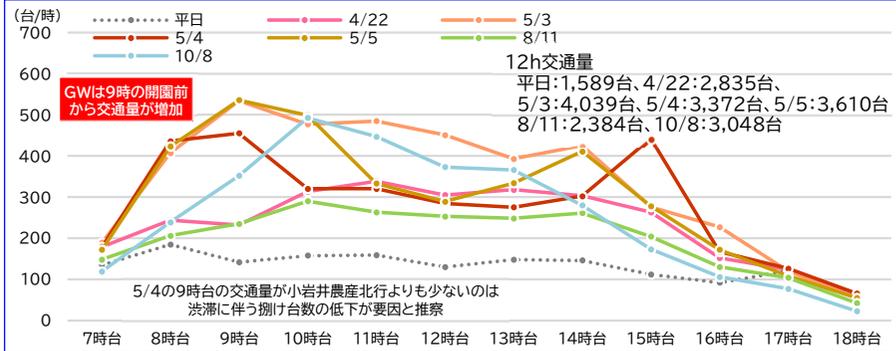
■県道219号の交通量の推移



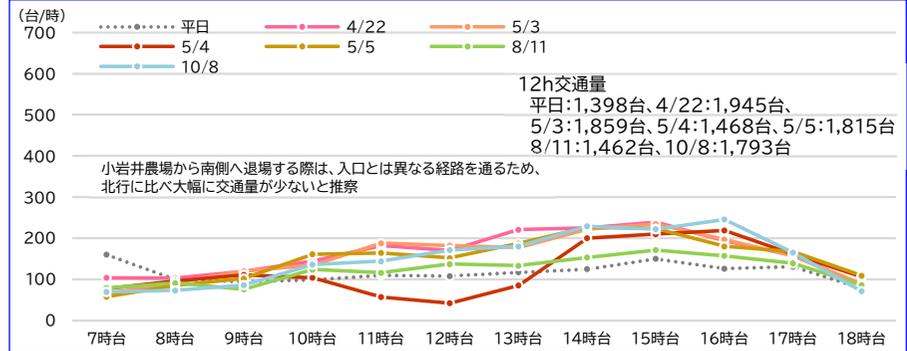
小岩井農産(南行)



まきば園(北行)

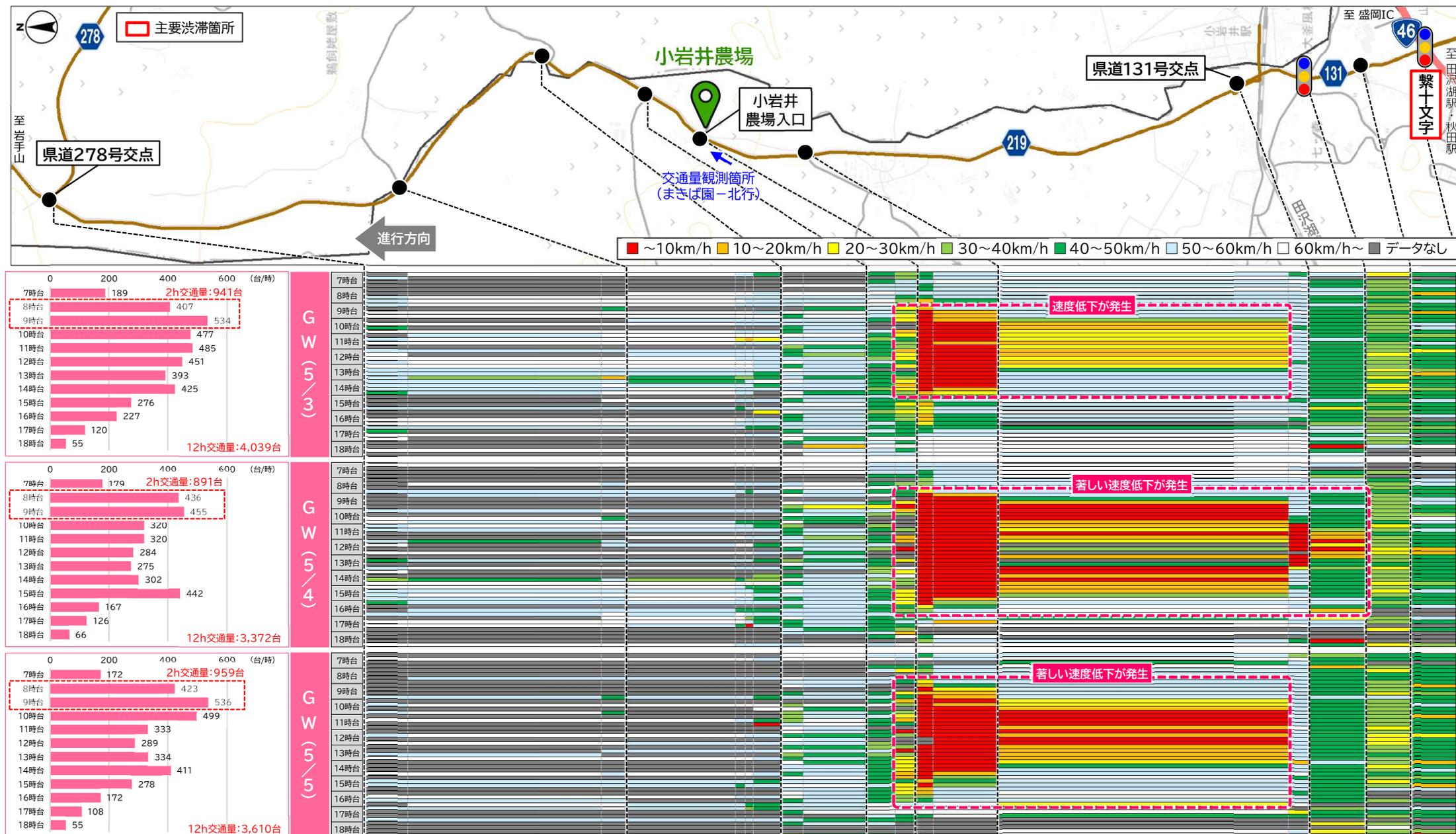


まきば園(南行)



5. 小岩井地区 観光期の渋滞分析(県道219号の交通量と旅行速度(R5GW))

- R5年のGWは開園時間前後である8~9時台の交通量が900台程度と多く、小岩井農場入口を起点に速度低下が発生。
- 特に5月4日は速度低下区間が他の日よりも拡大。

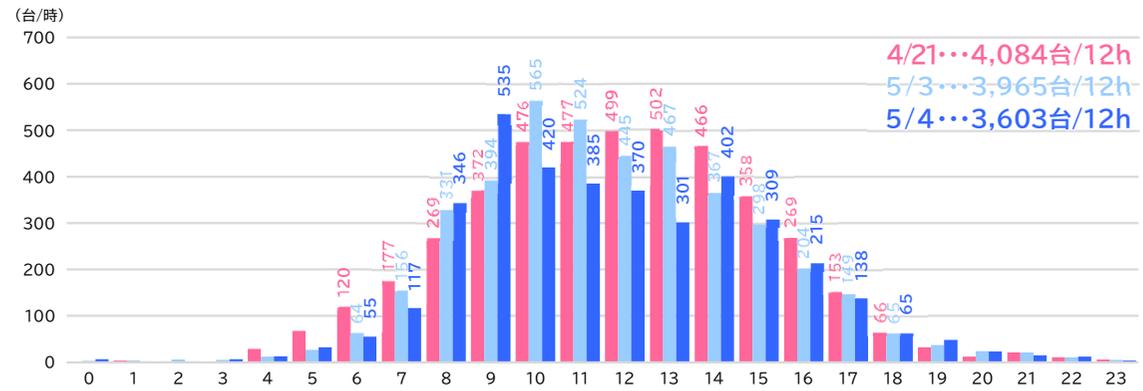


5. 小岩井地区 観光期の渋滞分析(県道219号(小岩井農場付近)を通過する車両の経路分散)

- 桜シーズンは小岩井農場入口北側交差点の西側に位置する一本桜方面へ向かう交通が多く、GW期間中は小岩井農場入口で終結するトリップが多い傾向。
- 小岩井農場へのアクセス路として、長山街道入口交差点を右折した流動も多く確認された。



【参考】まきば園-北行の交通量



出典:「断面交通量情報」(公益財団法人日本道路交通情報センター) (<https://www.jartic.or.jp/service/opendata/>)を加工して作成

5. 小岩井地区 観光期の渋滞分析(分析結果のまとめ)

■分析結果の概要

- (交通量) • 小岩井農場入口付近の交通量は、**小岩井農場の一本桜の満開時期やGW、お盆やSWに交通量が増加。**
• **時間帯別交通量を見るとGWの開園時間前後(8時～9時台)における交通集中が顕著。**
- (旅行速度) • 小岩井農場に隣接する県道219号の下り方向(小岩井農場入口へ向かう方向)において、**GWは著しい速度低下**が発生したものの、その他観光期では著しい速度低下は発生していない。
⇒**小岩井農場入口付近における開園時間前後の交通量が900台程度の日は速度低下が顕著となる傾向**
- (経路分析) • 桜シーズンは小岩井農場入口北側交差点の西側に位置する一本桜方面へ向かう交通が多く、GW期間中は小岩井農場入口で終結するトリップが多い傾向。

■渋滞要因の推察

- 交通量が最大となる桜シーズンでは速度低下が発生しておらず、**小岩井農場が目的地となることが多いGW期間に著しい速度低下が発生していたことから、小岩井農場へ進入する車両の集中が原因と推察される。**
- 特に著しい速度低下が発生していたR6年5月4日は、開園時間である9時台の交通量が500台を超えており、駐車場待ち車両が入口を超えて滞留したものと想定される。

■小岩井農場まきば園のGW等の混雑時における対応状況

- 駐車場に従業員を配置し、車を誘導。
- 農場入口付近に交通誘導員を配置し、県道219号を挟んで農場と牛舎を横断する人のために車を停止させる等の対応。

■実施可能と考えられる対策等

- 連休中日は、遠方からのお客様が周辺に前泊するため、出足が早くなる傾向がある。
- 対策としては、ホームページなどで来園時間の分散を呼びかけることが考えられる。

(R7.1ヒアリング結果)

■対策案

- (道路)ドライバーへ渋滞情報を提供
- (民間)ホームページなどで来園時間の分散を呼びかける 等

6. 三陸花火競技大会開催時の交通状況

6. 三陸花火競技大会開催時の交通状況(実行委員会の取組と今後の方針)

- 今回大会では、警備員の増員や市職員の配置などの対策を実施。前回よりも車両が約500台増加したこともあり、今回も打ち上げ前における駐車場周辺での渋滞および打ち上げ後における主要道路での渋滞が発生。
- 次回大会では、駐車場の新設やシャトルバスの輸送により渋滞の分散を目指す。

- 主な対策**
- 警備員の増員…駐車場内外に29人を配置
交通規制エリアに35人を配置
駐停車監視エリアに13人を配置
 - 市職員の配置…駐停車監視エリアに29人を配置
 - D(ディレクター)・AD(アシスタントディレクター)の配置…各エリアに計9名を配置
※D、AD…各エリアの運営および別エリアD、ADとの連絡調整をする者。
 - 警察の協力…会場内本部に警察官を待機、必要に応じて現場に出動・対応

■結果

■国道45号での乱横断

…駐車場Aを高田松原公園事務所付近に設置した影響で、来場時・退場時に国道を乱横断する行為が発生
⇒周辺に配置した警備員が対応

■シンボルロードでの乱横断

…退場時にシンボルロードを横断しようとする来場者がイレクターフェンスを倒し、乱横断が発生
⇒会場内にいた警察官、スタッフ、警備員で対応



■次回大会に向けた対策と対応方針

- 国道を横断するタイプの駐車場を廃止し、乱横断を防止
- 別途駐車場を用意して対応

- 警察と協議し対策を検討
- シンボルロードに警察車両を配置
- 注意喚起を徹底し、退場時には警備員や警察官が巡回

■花火打ち上げ時の路上駐車 …警備員が対応するも、対応が追いつかない状況に

- 渋滞の発生 …入場者数:14,000人~15,000人、駐車場利用車両数:3,200台(前回より500台増加)
…約1時間半の渋滞が発生
…警察が信号タイミングの調整を実施。
…交通規制担当に加え、駐車場関係の警備員も増員して対応

■ETC2.0データによる分析結果

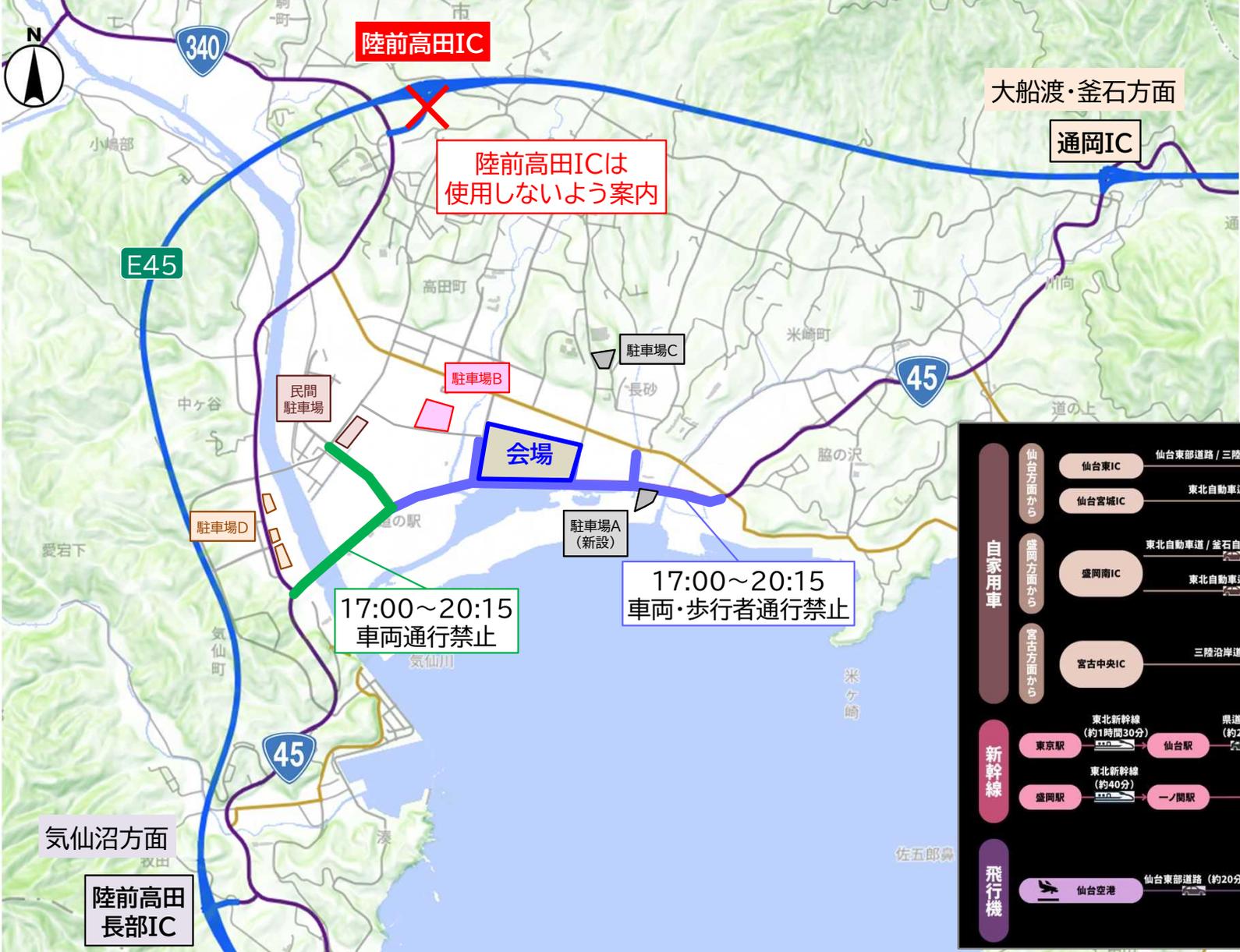
- 打ち上げ前は、駐車場に向かう車両の集中により速度20km/h未満の区間が拡大したが、過年度のように国道340号陸前高田IC方面まで拡大することは無かった。
- 打ち上げ終了直後は、過年度同様、陸前高田長部ICや陸前高田ICへ向かう国道45号、国道340号など市内中心部において速度20km/h未満の区間が拡大したが、21時30分以降に速度低下がやや緩和し始め、22時には市内中心部の速度低下はほぼ解消。
- 一方で、三陸沿岸道路の陸前高田長部IC以南では、22時を過ぎても速度20km/h未満の区間が見られる状況であった。

- 駐車場の分散配置を徹底し、渋滞を軽減。
- 旧市役所跡地やコミュニティホール周辺の駐車場を新設し、シャトルバスで会場まで輸送。
- 3,200台以上の駐車場を確保することで渋滞の分散を目指す。
(結果的に過剰な駐車場数となるが、市内の渋滞緩和が目的)

6. 三陸花火競技大会開催時の交通状況(概要)

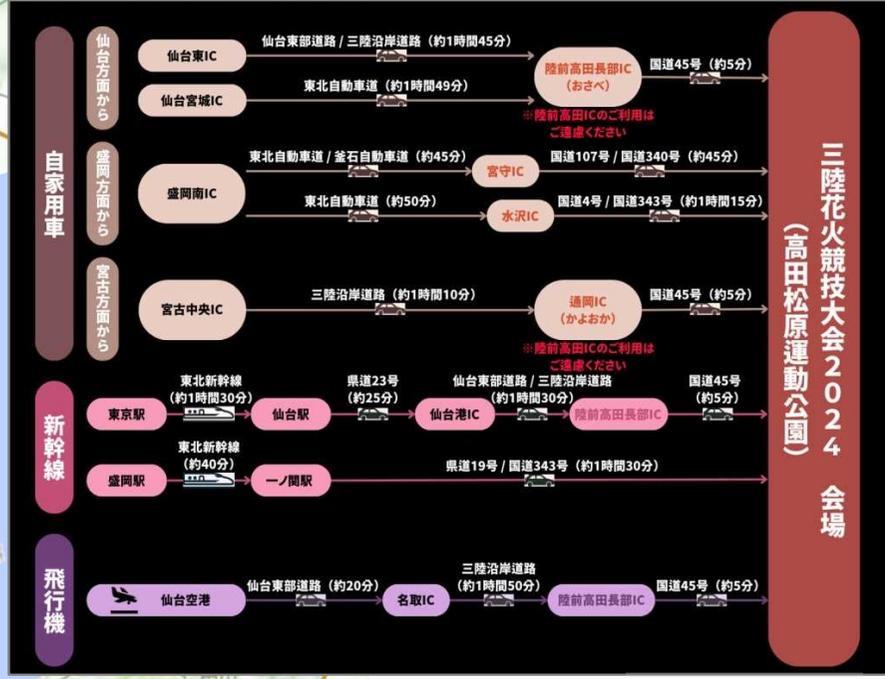
- ・R6年10月13日(日)の「三陸花火競技大会2024」開催時における陸前高田市周辺の交通状況を把握するために、速度状況を分析。
- ・花火大会の会場周辺では、国道45号等で通行規制を実施。HPでは、「会場へのアクセス時の陸前高田ICのご利用はご遠慮ください」と案内。

▼ 主な通行規制区間とHPでの会場アクセス案内



▼ 大会概要

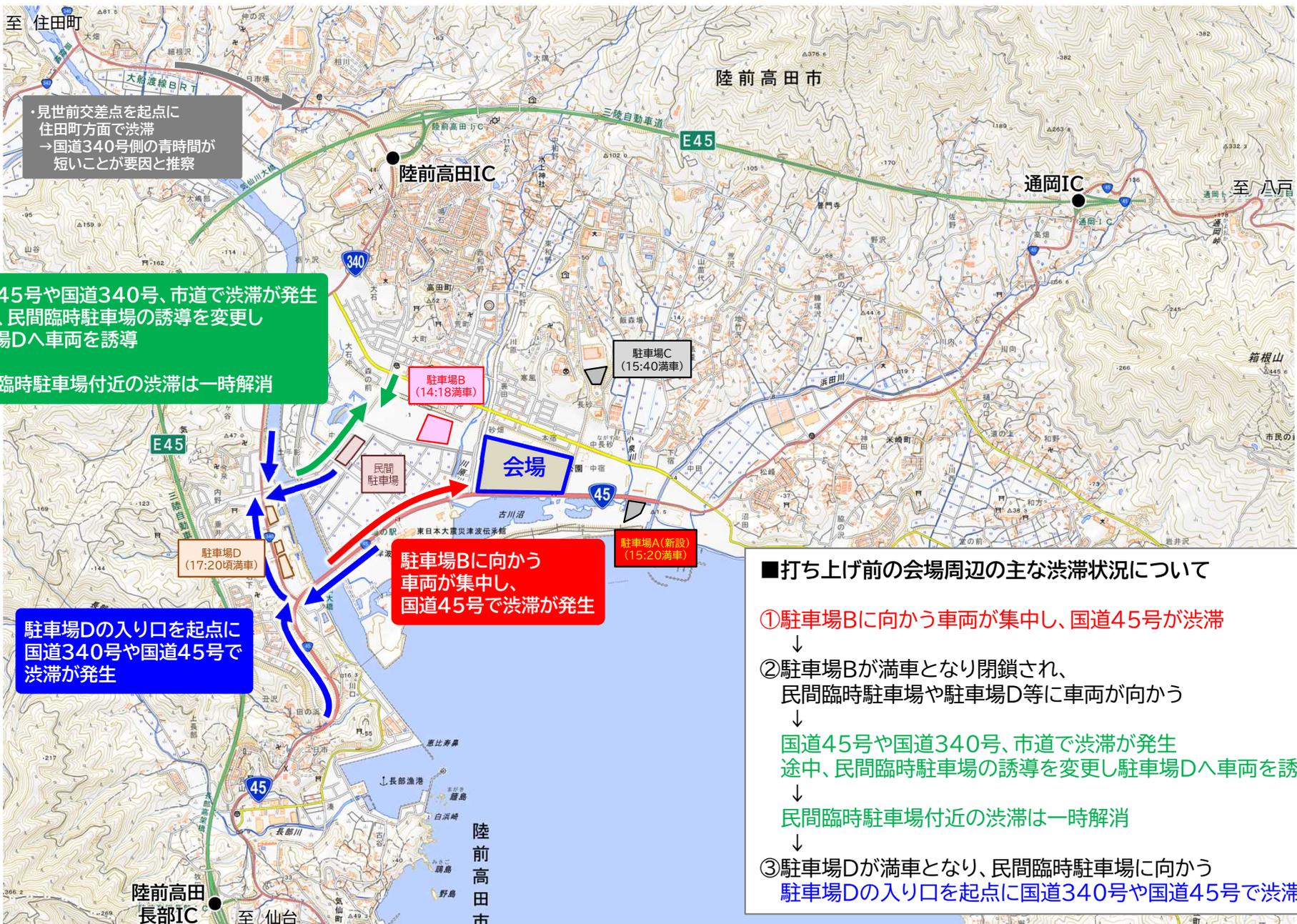
【開催日】
 2024年10月13日(日)
【開場時間】
 12:00 ~ 20:00
【打ち上げ時間】
 18:00 ~ 19:30
【交通規制】
 12:00 ~ 21:00



※地理院地図に駐車場位置等を表示して掲載

6. 三陸花火競技大会開催時の交通状況(打ち上げ前の主な渋滞箇所の概要)

- 最初に会場に近い駐車場Bに向かう道路で渋滞が発生。
- その後、駐車場Dに向かう交通により渋滞が発生。



見世前交差点を起点に
住田町方面で渋滞
→国道340号側の青時間が
短いことが要因と推察

・国道45号や国道340号、市道で渋滞が発生
・途中、民間臨時駐車場の誘導を変更し
駐車場Dへ車両を誘導
↓
・民間臨時駐車場付近の渋滞は一時解消

駐車場Dの入り口を起点に
国道340号や国道45号で
渋滞が発生

駐車場Bに向かう
車両が集中し、
国道45号で渋滞が発生

■打ち上げ前の会場周辺の主な渋滞状況について

- ①駐車場Bに向かう車両が集中し、国道45号が渋滞
↓
- ②駐車場Bが満車となり閉鎖され、
民間臨時駐車場や駐車場D等に車両が向かう
↓
国道45号や国道340号、市道で渋滞が発生
途中、民間臨時駐車場の誘導を変更し駐車場Dへ車両を誘導
↓
民間臨時駐車場付近の渋滞は一時解消
↓
- ③駐車場Dが満車となり、民間臨時駐車場に向かう
駐車場Dの入り口を起点に国道340号や国道45号で渋滞が発生

※地理院地図に渋滞状況等を表示して掲載

6. 三陸花火競技大会開催時の交通状況(打ち上げ前の速度状況)

・13時以降、駐車場Bへ向かう交通の集中により、会場入り口付近を起点に国道45号にて渋滞が発生。

▼13:30~13:45



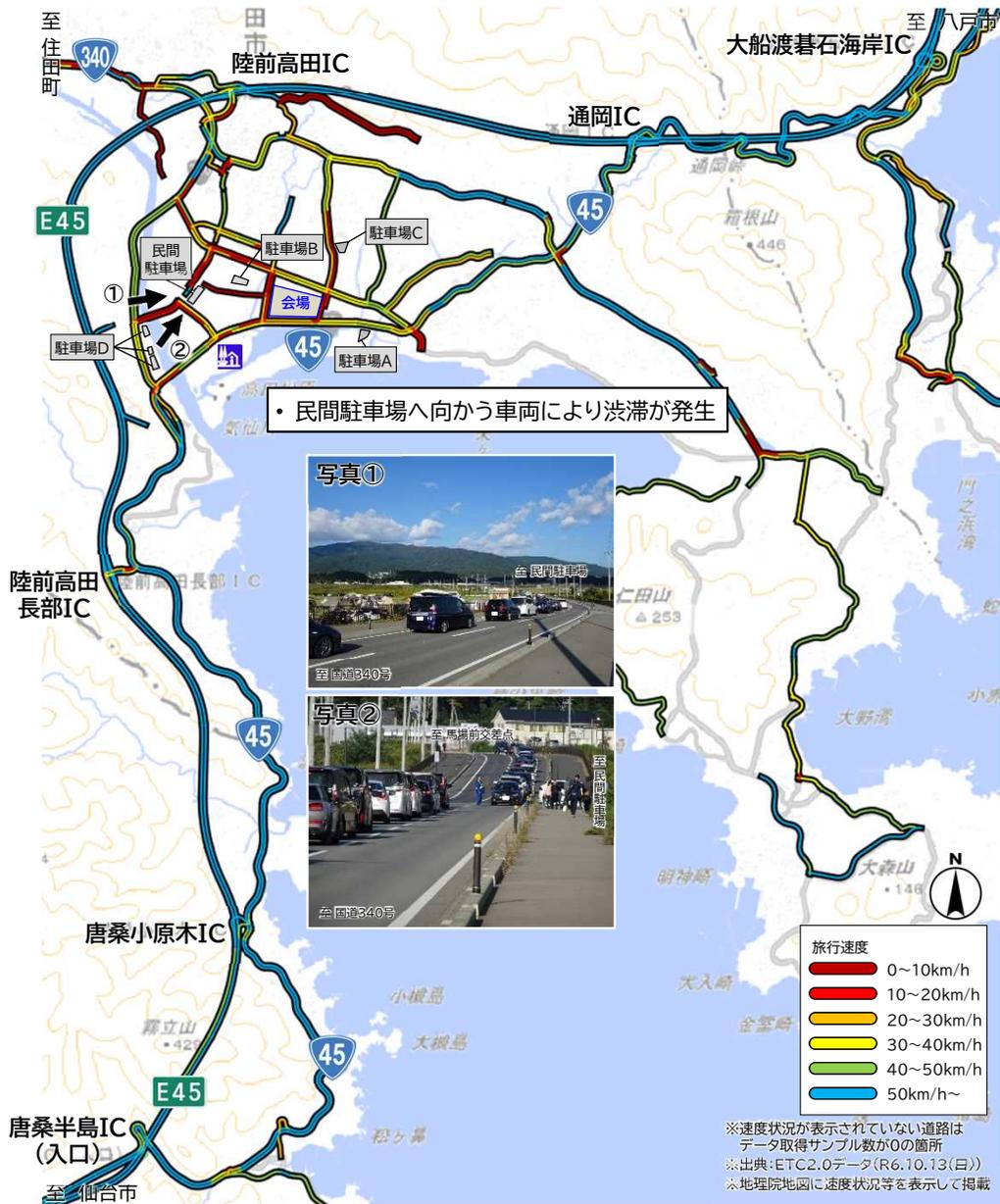
▼14:00~14:15



6. 三陸花火競技大会開催時の交通状況(打ち上げ前の速度状況)

・14時以降、駐車場Bの満車に伴い民間駐車場や駐車場Dへ向かう交通で渋滞が発生。

▼14:30~14:45



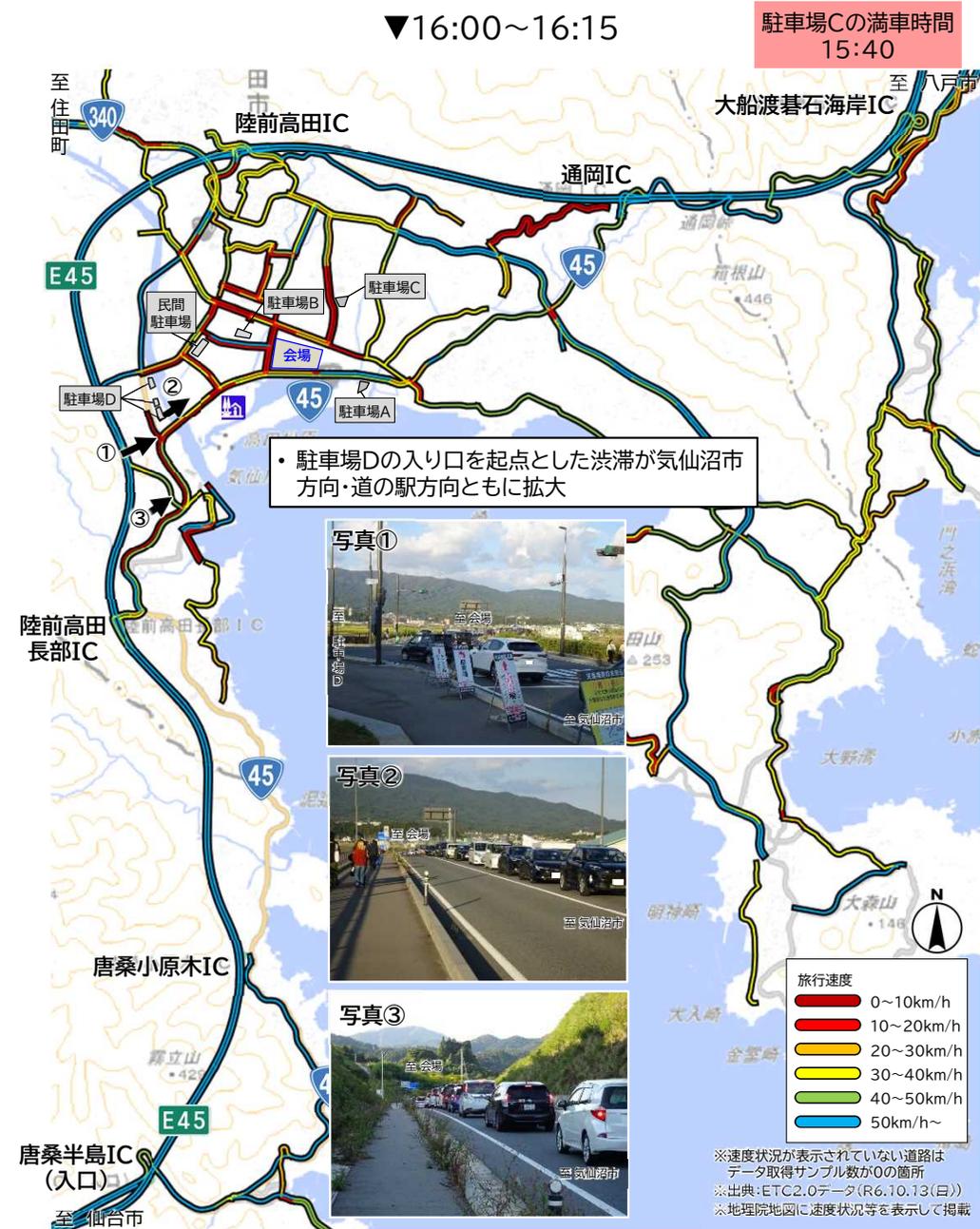
▼15:00~15:15



駐車場Aの満車時間
15:20

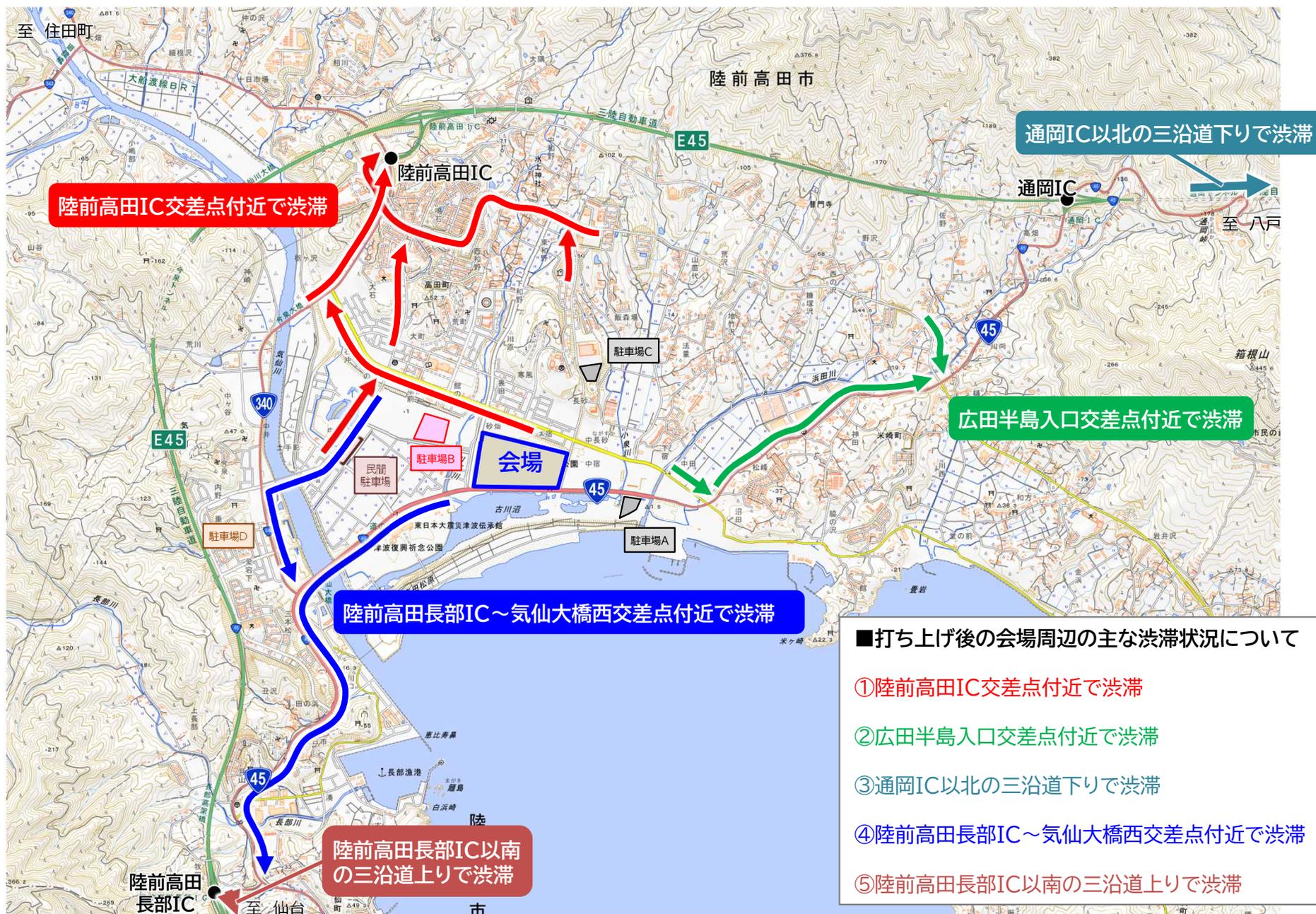
6. 三陸花火競技大会開催時の交通状況(打ち上げ前の速度状況)

- 16時以降、駐車場Dや民間駐車場へ向かう交通により、渋滞が発生。特に国道45号気仙沼方面で長い滞留が発生。
- 17時以降、市内の速度状況はやや改善。



6. 三陸花火競技大会開催時の交通状況(打ち上げ後の主な渋滞箇所の詳細)

- 陸前高田IC付近や陸前高田長部IC付近において渋滞が発生。
- 三沿道本線では、通岡IC以北の下り線で速度低下が発生した他、唐桑小原木IC付近から陸前高田長部IC付近まで渋滞が発生。



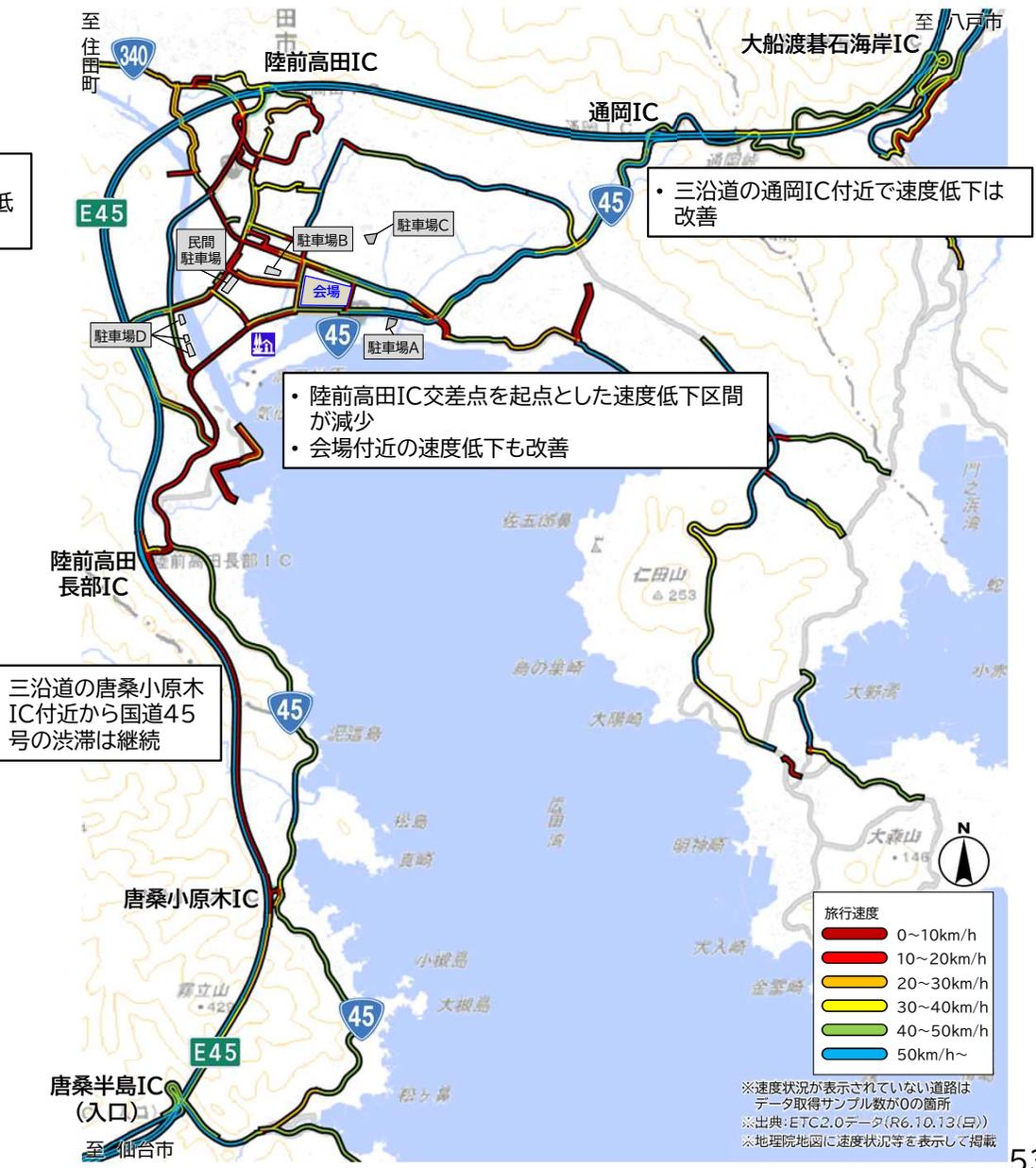
6. 三陸花火競技大会開催時の交通状況(打ち上げ後の速度状況)

- 21時前は陸前高田ICや陸前高田長部ICなどへ向かう交通の集中による渋滞が継続。
- 21時以降、速度20km/h未満の区間がやや減少。

▼20:45~21:00



▼21:15~21:30



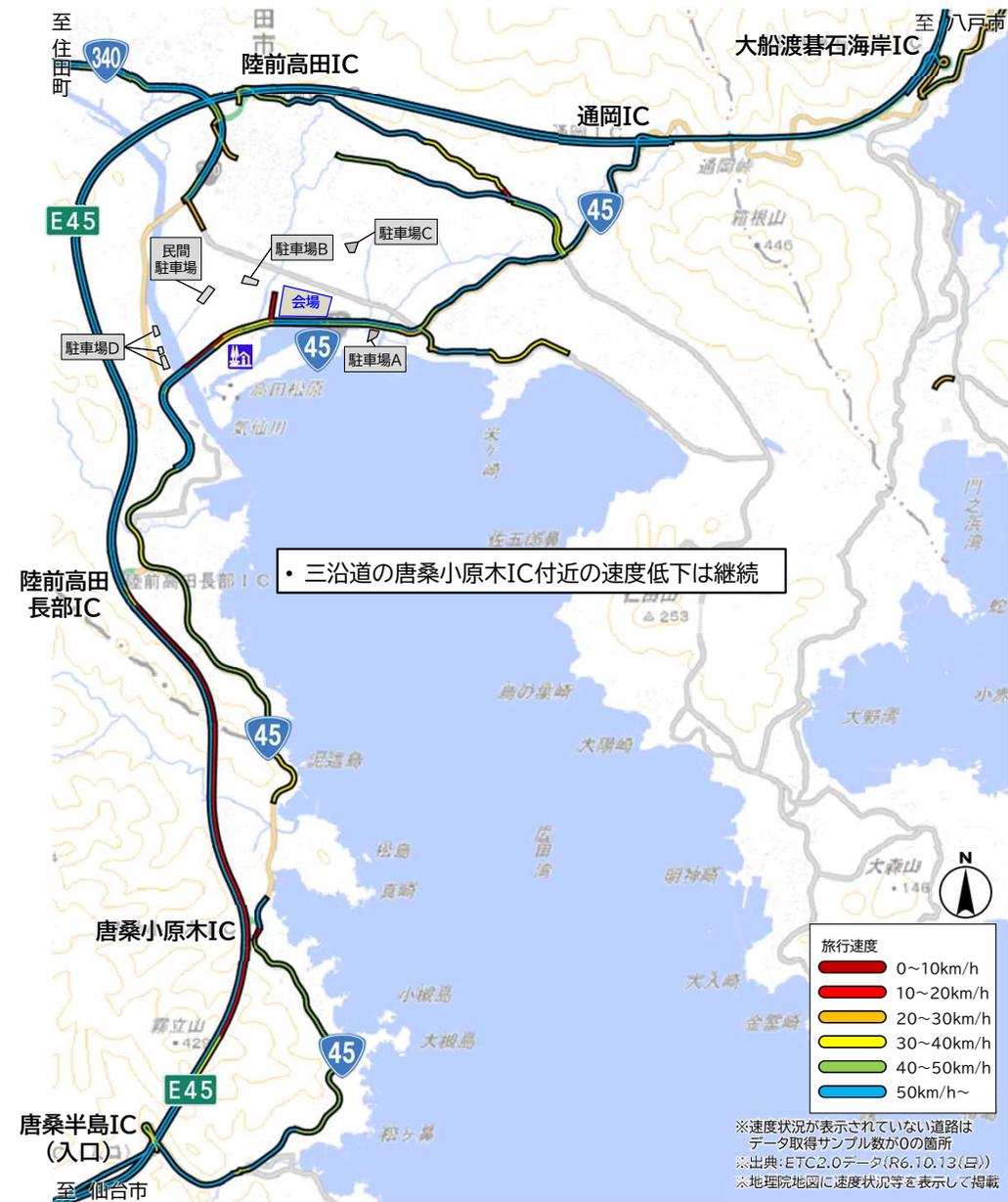
6. 三陸花火競技大会開催時の交通状況(打ち上げ後の速度状況)

・22時以降、会場周辺の速度低下は改善していたが、三沿道の唐桑小原木IC付近では速度20km/h以下の状況が継続。

▼21:45~22:00



▼22:15~22:30



7. 今後の進め方

7. 今後の進め方

- ◆ 令和7年度の第1回渋滞対策推進協議会においては、
 - ・月が丘三丁目交差点の特定解除の判断
 - ・ピンポイント渋滞対策箇所の対策状況・効果検証
 - ・TDM施策の取組方針
 - ・盛岡都市圏道路ネットワーク検討
 - ・観光期の渋滞分析・対策検討

等の報告及び協議を予定

- ◆ 要望箇所及び指摘箇所についてモニタリングを継続